仔猫ちゃん、こっちにおいで

3

WATABE MIHO
渡部美朋

contents

第13話「お風呂で愛をちょうだい」

第14話「男同士の密会」

第15話「初エッチの事情」

第16話「まっすぐ恋愛してる?」

第17話「ぜったい誰にも渡さない!!」

第18話「期待高まる初旅行」

第19話「可愛くないオンナ」

第13話「お風呂で愛をちょうだい」

コロ〜
フラ〜
まったく
そんなヒールの
日に
フラフラになる
ようなペースで
飲むやつがあるか
コロ〜
すみ…ませぇん
フラ〜
…はい
…つーか

あなたが
あんなこと言うから
川島となら
結婚してもいいと
思ってる
気まずくて
飲みまくっちゃったんですけど?
――とは
言えない
ちょっと
止まっていい
ですか?
今日…ほんとは
ちょっと用事が
あって…
…なるほど
ぺたんこ
なんだ
そんなの
持ち歩いてた
のか
ウチのフラットシューズ

デートだったわけだな

フー

なんでわかるの!?

そして身長差を縮めたいという乙女心か…

あくまでも仕事ですからあっ

きっちりしないとね

それより約束してるなら早く言えよ

そしたら早めに切り上げたのに

いえっ打ち合わせ忘れてたのは私の責任ですし

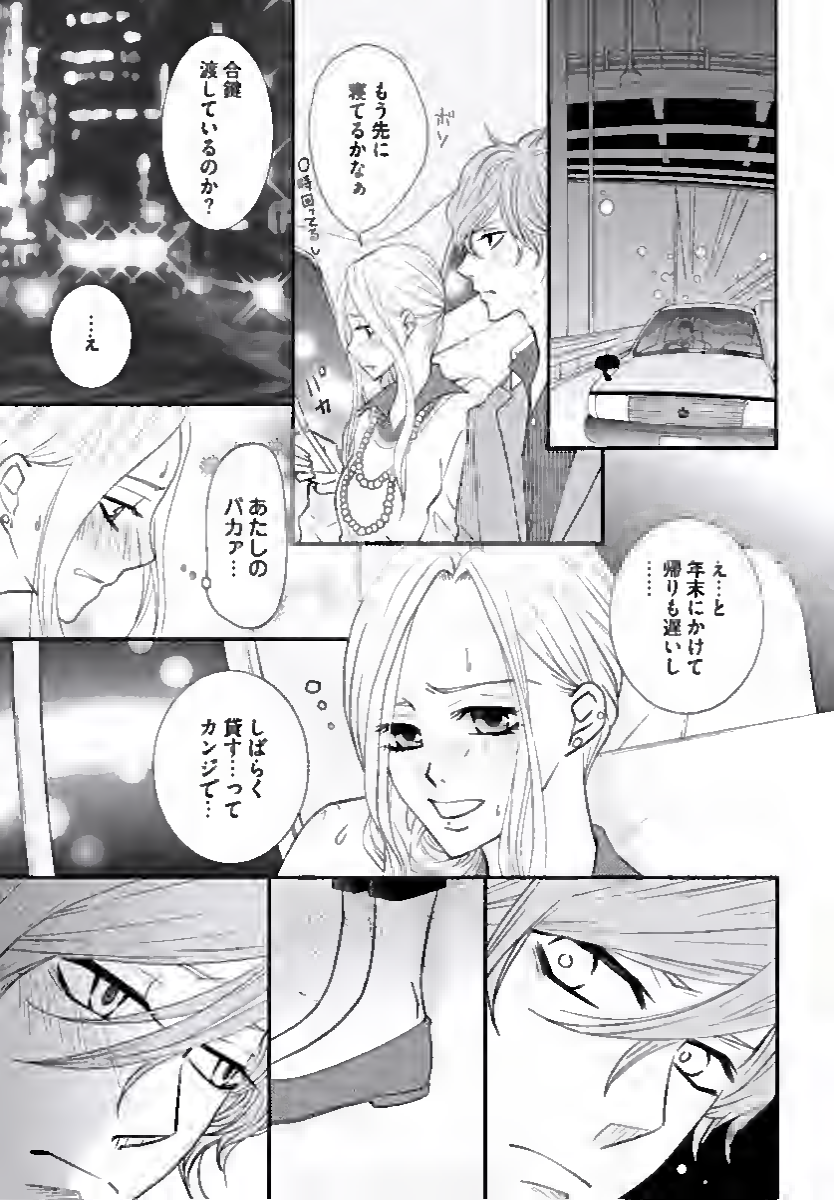
タクシー呼んでくる

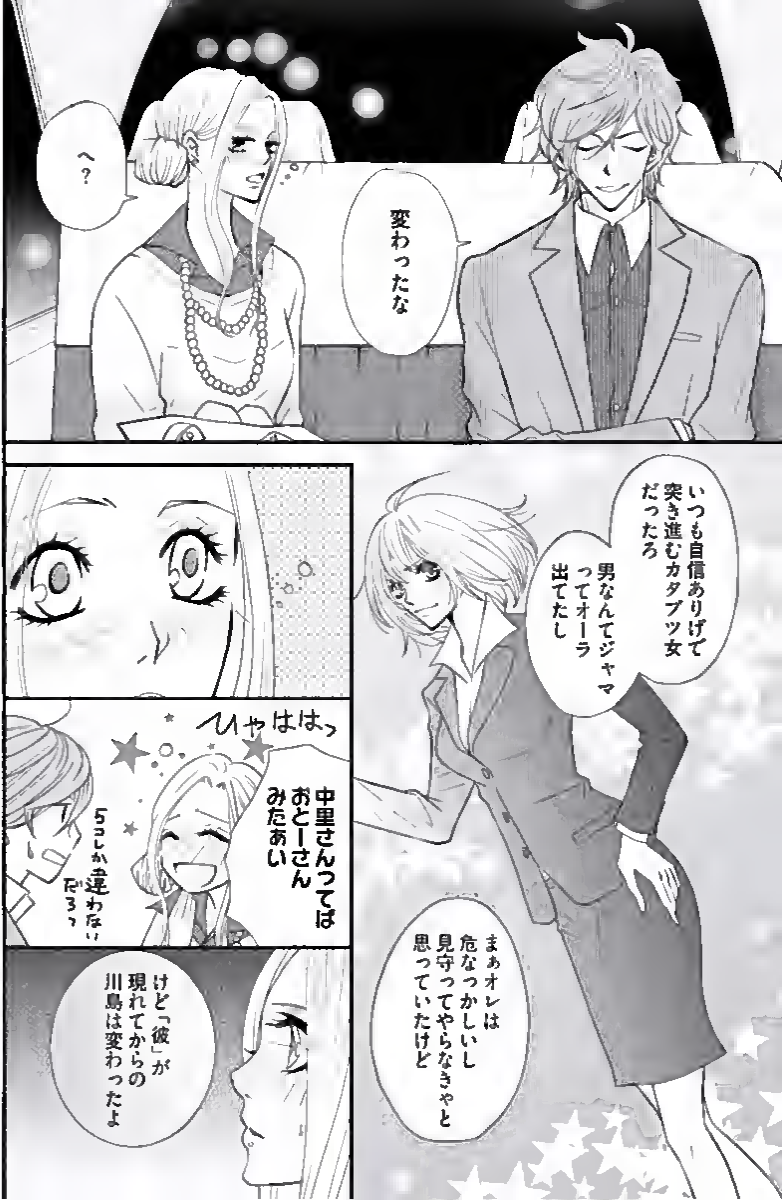
あ……はい

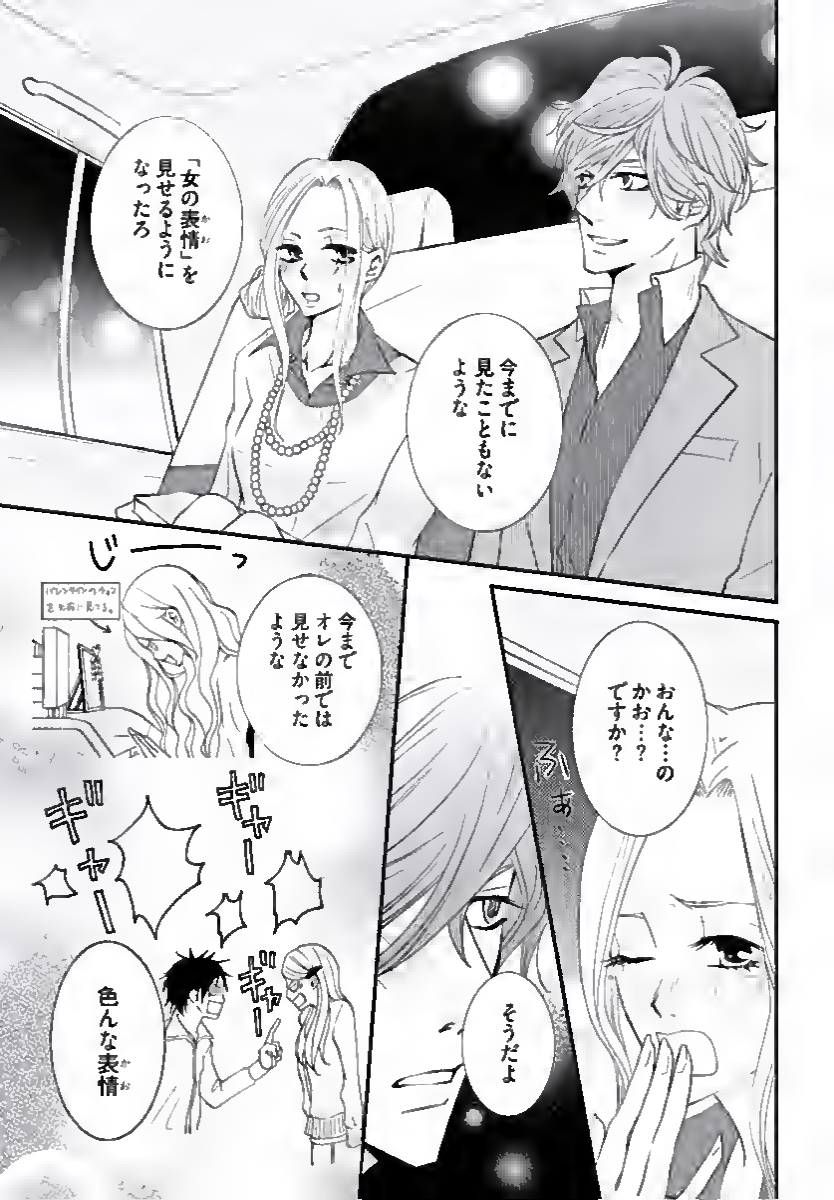
ぽやあ〜

あれ？いつもなら「さすが川島」ってなるのに…

？


え…と
年末にかけて
帰りも遅いし
……
しばらく
貸す…って
カンジで…
あたしの
バカァ…
合鍵
渡しているのか？
……え
もう先に
寝てるかなぁ
ポソ
0時回ってる

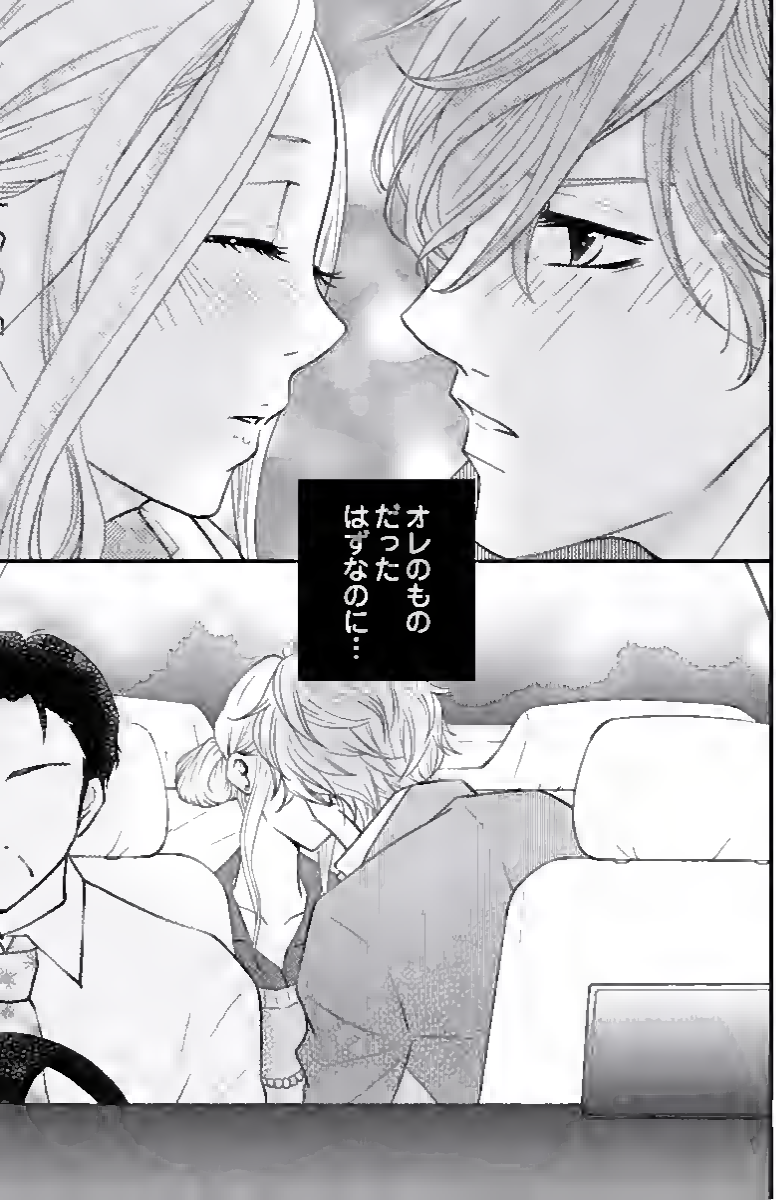

へ？
変わったな
いつも自信ありげで突き進むカタブツ女だったろ
男なんてジャマってオーラ出てたし
まぁオレは危なっかしいし見守ってやらなきゃと思っていたけど
けど「彼」が現れてからの川島は変わったよ
ひゃはは
中里さんってばおとーさんみたあい
5つしか違わないだろっ

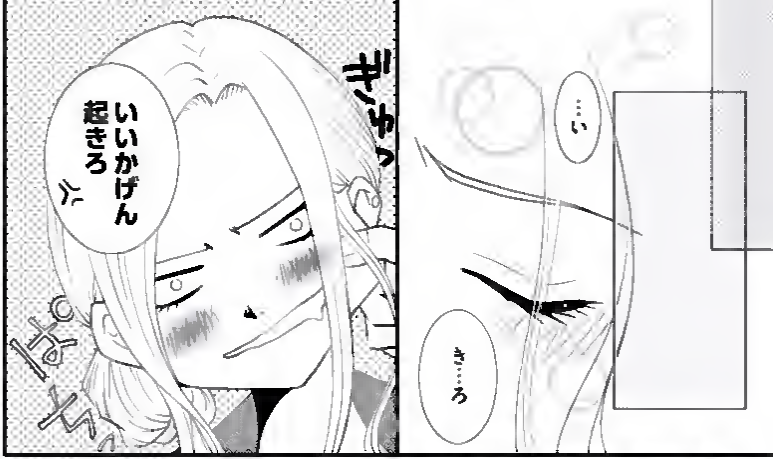

「女の表情」を見せるようになったろ
今までに見たこともないような
おんな…のかお…？ですか？
ふぁさっ
そうだよ
じーーっ
今までオレの前では見せなかったような
ギャー
ギャー
ギャー
色んな表情

中里さん…ごめんなさい
まさか
こうあっさりと
持っていかれる
とはなぁ…
ばっ
あっ
今のは…っ
寝ている
ぐしゃ
はぁ…

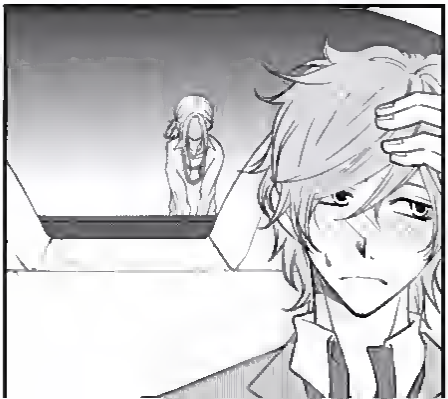
半年前
キッパリ振られてからも
イチ上司として
平静を装っていたのに
『あくまでも
仕事ですからぁ』
彼女のたった一言と
少しのアルコールで
この始末か…
もっと早く
そもそも今まで勝手に
こいつの支えになれる男は
す――
自分だけだと
安心しきっていたのが
バカだったな

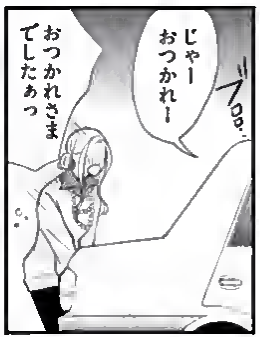
いやせめて
あの夜もう少し
強引に押していたら
こんな
女の子らしい
一面も
ぼってりした
唇も
少し幼さの残る
寝顔も
今ごろ
すべてが


オレのもの
だった
はずなのに…


…い
き…ろ
ぎゅっ
いいかげん起きろ
はな

ぱっ
ほらもう家ついたぞっ早く降りろっ
…あっはいっスミマセンッ

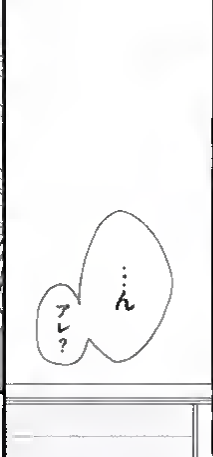



ブロロ…
じゃーおつかれー
おつかれさまでしたぁっ

…ん
アレ？

こんもり

れえ～お～
寝ちゃったのお～～？
ぎゅ


…てかまだお酒抜けてない…

ガララ

ただいまぁ
遅くなっちゃってごめぇ！…
ガチャ
カポ

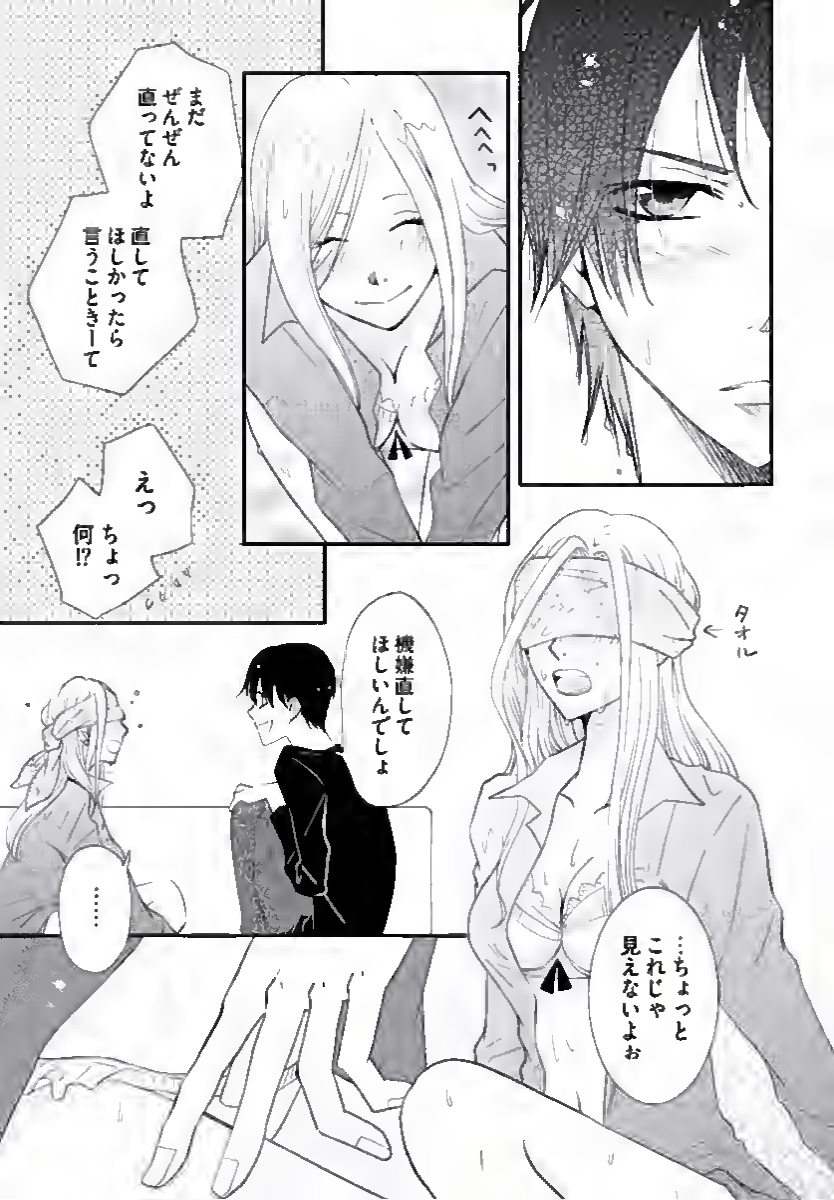
起きてる
なーんだ
起きてたのぉ
スネ
てる…？
ばっ
えいっ
ひっく
なんか
かわいい…っ
イメージ
ニャム ニャム
きゃ
っ

そんな
ベロベロになるまで
飲む打ち合わせなんて
非常識だろっ
シャワーで
酔いさまして
こいよっ
もぉ——
何よぉ——
はぁい
浴びますよぉ
——だっ
ムラァ
れおぉ〜〜っ
むちゅっ
ビクッ
ブッ
くさいっ

はぁ…
ひさびさに
本気で怒らせ
ちゃったかも
反省…
今回は
完全にあたしが
悪いよね…
ガチャ
ちょ…
びっくりした
――っっ
オレが洗う
は!?

ニヤ
きゃっ
ア
ア
ア
キュッ
ちょっとぉ
まだ服脱いで
ないの
にぃ〜〜っ
少しは
酔いさめた？
はぁ〜〜？
ソレ目的で
こんなこと
したの？

つーかさぁ
そのカッコ
今までで3本の
指に入るくらい
エロいかも
れおの機嫌が
直ったなら
よかったぁ…
ぱしゃ
――まぁ
なっ
なんで知ってんの
のよっっ
悠子の大好きな
エロゲーによくある
シチュエーション
だね
18禁の
乙女ゲームの
てっぱん！


へへへ
まだ
ぜんぜん
直ってないよ
直して
ほしかったら
言うこときーて
えっ
ちょっ
何!?
タオル
…ちょっと
これじゃ
見えないよぉ
機嫌直して
ほしいんでしょ
……

ひくっ
やだ…
ビー
ぐにっ
何これ…
見えてないってだけで
はむっ
いつもより敏感になってる
や…
だ…めっ
やば…い
もうイッちゃいそうなの？

そんなんじゃ
オレ機嫌
直んないよ？
ホラ
立って
あっ…っ
アルコールもまだ
抜けきってないし
んっ
全身がいつもより
…アツイっ
ビッ
ズッ
はあっ
ふあっ

結局
ピアスのことは
きけなかったな…
すぅ
すぅ
洋島屋
れおちん
ありがとー♡
おかげで濡れずに
出勤できたよ
れおちん
ステキ♡
タダじゃねーよ
やれり
チッ

れおちんの守銭奴(しゅせんど)〜〜〜っっ
ダダダッ
なんとでも言え
ぐー
あ
あいつ駐車券忘れてやがる
へないと出る時400円取られる。
しかたねーから悠子のとこにもらいに行くか
あれ？
キャリ
あやっぱり君か
久しぶりだね
川島に会いにきたのなら
あと30分で休憩だよ
あ…そーなんですか

この間は彼女の帰宅が遅くなって悪かったね
いえ…
べつに仕事なんだから仕方ないですよ
――そうだ
もしよければ彼女を待つ間
コーヒーでもどうかな

第14話「男同士の密会」

先日は友人を紹介してくれてありがとうとても助かったよ
あ…いえ…
いきなり二人でコーヒー飲もうだなんて
何考えてんだこの人
すっげ――気まずいんですけど!!
ところで

川島とは
うまくいってる
みたいだね
にっ
えっ

え…と
…はい
知ってるんだ
この人……
最近の川島は
きみとのデート用に
フラットシューズを
持ち歩いててね
今まで男性に
合わせるなんて発想
みじんもなかったのに

なんか
かわいいと
思わない？
…はぁ
クス
クス
き…
気づかなかった!!
つーか
悪かったな
チビで!!

それだけ
川島は
本気なんだろうね
ドキ
だから
聞かせて
ほしいんだけど
カタ
きみは
彼女のこと
どう思っている
のかな?

ど…
どうって？
つまり
真剣につき合って
いるのかが
気になっていてね
前にも伝えたけど
彼女は会社でも有望視
されてる「社会人」なんだ
さっきから
なんなんだ
けれどきみは今
学生だよね？
まだまだ遊びたい
年頃だと思う
きっと男女の
つき合いも今が
楽しければいいという
考えかもしれない
やっぱり
この人…
けれど彼女は
違うんだよ
もしもきみが…
ちょっと
待ってくださいっ
！

さっきから
あーだこーだ
言ってますけど
それって
会社の上司
としての忠告
なんですか？
ドキンッ
こんな
プライベートにまで
首つっこんだり
誕生日に
あんな高い
ピアス
あげたり
全部
上司としての
仕事の一貫
なんですかっ
オレは
本気です
…い
いやぁ
それは…

そりゃ
あんたから見たら
ガキかもしれないけど
悠子のことは
誰よりも
想ってるし
大切ですっ
しゅう〜
ヒソ
ヒソ
オレは
全部
答えました
次は
中里さんの
番っスよ
オレの質問に
答えてくださいっ

…オレは
きみが現れる前から
川島のことが
好きだったんだ
やっぱり…っ
若いコが相手だし
そんなに長続きしない
だろうと思ってだけど
ぽり
そうでもない
みたいだね…

どんだけ上から発言だよこいつっっ
つーかガキだからって見くびるべきじゃなかったですねっ
ハハハ…その通りだよ
もっと早く気持ちを伝えていれば
今頃普通につき合えてたんじゃないかなって後悔してる…
もっと早く？
…え？
それって…告白したってことですか？
ダンッ
……
――あぁしたよ
きみのおかげでフラれたけどね
じゃあ悠子は…

口説かれてた奴と
いつも二人っきりで
会ってたのかよっ

この間だって
あんなベロベロに
酔った状態で…!!

ズッ

時間とらせて
悪かったね

ガタッ

じゃあ

ちょっ
ちょっと
待てよっ

今更
あーだこーだ
言ってくるなんて

あんたの方が
よっぽど
ガキじゃねーかっ

ピタ
きみの言う通りだ……
だからオレも大人ぶるのはもうやめるよ
気づかせてくれてありがとう
それってどういう意味だよっ
タン タン
おいっ
ちくしょう
なんなんだよ
タン タン タン
TOKOSHIMAYA

梶原ちゃん
来月の三連休全部
お休みの希望
てるけど
なんて？
カレシとの
2周年記念日
なんですよ
だから
フンパツして
温泉に行こーかな
って思って♡
ばかっ
あ…っ
しまった!!
男…理由にしちゃ
ダメって
何度言えば
わかるのよ
——つっ
えっ
そうなんだ
いいなぁ～
楽しんで
きてね♡
なんか最近
店長
かわいくなった
よねッ
やっぱ「男」て
女は変わるのよ
——♡
さくっと
売り上げ入力して
あたしも帰ろー
カタ
カタ

ガタ
シャッ
忘れ物ー？
——て
れお!!
ま！た
従業員用の
入り口から
入ったの？
もー
今日
中里さんと
会った
え…っ
あ
会ったって
どういうこと!?
中里さんが
どうして…？
みかんを
送った帰りに
駐車場でばったり
会ったんだ
——あのさ

悠子は
あの人のこと
どう思ってんの？
どうって…
別に頼れる
上司だと思うけど
…
それだけ？
急に
どうしたのよっ
悠子のこと
好きだって
言われた

しかも
告白までしたって
言ってたんだけど
なんて
黙ってたの？
中里さん
れおに言ったの!?
変に誤解
させたり心配
かけたくなくて…
隠してる方が
不安にさせると
思うけど？
あの人のことで
もうオレに言って
ないことない？
こんなに
本気で怒ってる
れお…初めて

中里さんはどこまで喋ったんだろう…
ドクン
ピアスのこと？それともアウトレットのことまで？
誕生日にピアスをもらったのと…
それと…
…それと
ドクン
きっとここで変にウソついたら
一生あたしのことを信じてもらえない…
研修の時…
…途中まで…した

…とっ
途中…って
どこ…まで？
…キスと…
…もう少し…
れおに「セフレ」って
宣言されてすごく
落ち込んでた時に
中里さんから
告白されて…
でもちゃんと
断ってるし
今はただの
仕事の
パートナー
だよ？
お願いだから
信じて？
そんなに
怒らないで
…ね？
ちげーよ…
怒ってんじゃ
なくって
くやしーん
だよっ

あの時オレが
ヘンな意地
張んないで
ちゃんと
気持ち
伝えてれば…
ギュッ
ちっ
ぐしゃ
ちがうっ
れおは
悪くないのっ
あたしが今
大切にしたい
人は
れお
だけだからっ

お願い
信じて…
好きなの…
れおだけなのっ
おっ
カチャ
カチャ

お…おいっ
誰か来たらっっ
いいのっ
今したいのっ
うっ
びくんっ
ガッ
ガッ
担当中里
中里…
くいっ
あっ

んっ
はぶっ
んくっ
んっ
じゅっ
れろ
れおいつもより
激し…い…
あっ
あっ
はっ

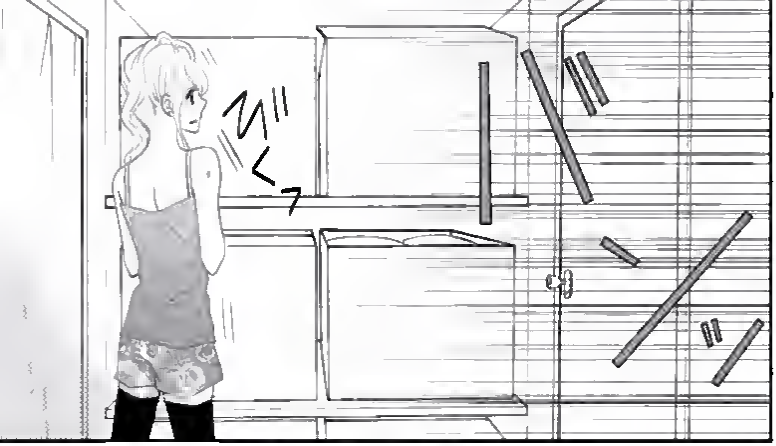
ぷはっ
はあっ
「研修の時…
…途中まで…した」
つーか
キスともう少しってどこまでだ?
あの男にもこんなカオ見せたのか…?
あいつの手で舌で感じたのか…?
ドクン
ドクン

クスクス
……
……れお？
どー…したの？

…ごめ…ん
…ムリかも
…あ
震えちゃってる…
あぁあたし口でしよーか？
ちがう…
そーじゃなくって…
…オレ
もうダメかもしれない…

第15話「初エッチの事情」

ダメって…
…それ
どーゆー意味？
ごめん
ボソ
どうしたらいいのかわからない…
…え!?
ピタ
バッ
どうしたって!?


ガラ

どうしよう…

とぼ
とぼ
ねーれおちん
さっきの千円って
ちょっと高くない？
500円くらいで…
はっ
あれ？
…別に
どーしたの
れおちん？
ひょっとして
悠ちゃんと何か
あったぁ――？
うるさい
んだよっ
ぴっ

だいたい
おまえを送ったり
しなきゃ
こんなことにならなかったんだよっ
は？
おまえって
姉にも
ちょっと…
れお？
もうとっくに
悠ちゃんのことは
諦めてると
思ってたのに…
それに悠ちゃんも
何正直に
喋ってんのよ～～っ
はぁ!?
中里さんが
そんなことを？
はじめから
ちゃんと
つき合うとけば
よかったのに
ひねくれた
性格のせいで
こーなったんだからねっ

しれっ
まーすんなり
つき合えなかったのは
あたしのせいでも
あるけどねっ
…んなの
わかってんだよ
——でも
あの時は…
—昨年11月—
カチャ
カチャ
はぁ…
あー
何？
今ぁ!?
ムリ
ゲーム中!!
悠ちゃんが
ケガしちゃって
大変なのっ
それに今夜は
高田さんとの
一週間記念日
だから行かなきゃ
なんないしっ

ツーツー
切りやがった!!
しっかしおっせーなぁっ
だいたいそんなに大変な男との約束断れよっ
「悠ちゃん」って確か…
悠ちゃんがしつこい元彼をビンタで追い払ってくれたのぉ～～～
カッコ良くない!?
すごいにゃー
悠ちゃんこの間 道で変なオヤジに「ボクの女王様になってください」って言われたんだよぉ～～～!!
悠度がハンパないんだよっ
うわぁ…
帰りてぇ…
れおの脳内イメージ
来た!!
ソコ段だから気をつけて

おそる
おそる
だったらそうメールしろ!!
つーか
つせーよみかん!!
しょーがないでしょお
とっとにかく落ちつけっ
ピークールピークールッ
ドキドキ
ばっ
あれが「総ちゃん」ぜんぜん聞いてたのとちげ!しっ
!?

近くで見たら
みかんの新しいカレ？
さらにかわいいじゃね――か!!
弟のれおちんだよ――
せっかくクールキャラ保ってたのにっ
きゃはははっ
あの日 妙にキレてたのは照れ隠しだったのねぇ――
かーわいい♡
……
もういい…
あっ
笑ってゴメンちゃんと聞くからっ
ここからが本題なんでしょ？

——て
足痛そーだったから支えながらマンションまで行ったんだよ
ム…ムネが
あたってるっ
や…やべぇ
かっ下半身が反応しかけているっ
ビキ
ビキビキ
ビキビキ
ちくじょうっ
クールぶってても
しょせんは童貞!!
チン
じゃあオレはここで
ぽっ
えっ
あ…うん
あっぶなかったぁ——っ
勿体ないなぁずに済んだ

しっ舌が
入って…っ
せっかく
鎖めたのにっ
えっ
さわっ
あっ
カタく
なってる
何考えてんだ
この人!!
ヤバ
入って

——て
気づいたら朝だった
ちょっとおっ
ええ〜〜っ
何勝手に一番面白いトコカットしてんのよぉっ
初体験きかせろー
ったく言えるわけねーだろ
武勇伝ならともかく……あんな
ヘタレな初体験…
きみも触っていいよ
えっ
ズ
すっげーやわらけぇ…
ふにっ

すげ――
でかいっ
昔1回だけ
触った時とは
ぜんぜん違うっ
※友貴のコト
あっ
二度とあんな
軽はずみな行動は
しないと心に
この人
酔ってるっぽいし
どーしたの？
やっぱりこれは
まずいよな…
あんまり
こーゆーの
慣れてなくて
だから…
今日は帰ろう
えっ
もぞ

今日は
特別にリード
してあげる
だから
リラックスして
かっ
ドキ
ドキ
ドキ
かわいいっ
うわ…っ
なんだこの感覚はっ
ぐくっ
だめ…だ
理性がぶっとぶ!!
ぷち
がばっ
あっ

はあ
はあっ
はあっ
すぅ
すぅ
…して
ぽゃー
しまった

じーん…
オレ…
※彼女洗濯中
19歳目前にして
ついに脱童貞したんだなっ
つーか
こ・ゆ・展開に
なったってことは
これから
つき合う…とか?
でも
ちょっと待てよ
……
あんな
キレーな女が
カレシいないわけ
なくね!?
かわいかったから
犬3号に加えて
あげるわ
ホホホッ
!?
(18禁
乙女ゲームっぽい音(声))
ココロもカラダも
ボクに預けて♡

エロゲーだよな…？
山ほどある…
ひょっとしてオカズにしてんの？
勝手に漁るなぁ!!
コレがカレシがわりなんだ？
ガーン
とっ
友達にムリヤリ貸されたの!!
ふーん
カレシはいないんだ
なんかメシ買ってくる
ブツブツ
ちょっと時間つぶしにやっただけで
キーてない。

ぱっと見 派手だし
大人の女ってかんじだと
思ったけど
なんか
意外と
ぬけてて
目がパシパシ→
キャップがかわいいんだよな
みるなっ
まぁ順序は
アレだけど
なぬっ
もうオレも
ガキじゃねーし
こーゆー
スタートも
ありだろう
彼女…かぁ
この時までは
正直オレの脳内は
お花畑になってた

だけど
戻ったら…
昨夜のアレは
酔った勢いって
いうか
一夜の過ち
みたいなもんで
だから
なかったことに
しよっ
一夜の過ち…？
みかんにも
内緒で!!
オレ…
初めてだったん
だけど…
ご…ごめん
でもさっ
男の子って早く
捨てたいもん
でしょ？
よかった
じゃない？

なんだよ
その言い方っ
つーか
責任とってよ
それって
つき合え
ってコト？
すげえ…
迷惑そうな顔…
ズキン

何一人で
突っ走ってたんだオレ

彼女ができたと思って
勝手に盛り上がって

バカみてーじゃんっ

あの時…
あんな意地
はんなければ
よかった
せめて
もっと早く
気持ち伝えてれば
……
なーんか
面白い部分は
はしょられて
たけどっ
要するに
遊ばれたと
思ったわけねぇ
面白い
……
——だけど
あたしが
カンづいた
時点で
ちゃんと二人を
くっつけとけば
中里さんが
入り込むスキは
なかったのよね
…
とにかく
くよくよしてても
過去は変わらないし
気に病むのは終わり!!
自分にそう言い聞かせている。
……

悠子は何も悪くないっていうのはわかってる
でもなんかムネのモヤモヤが治まらなくて…
黒いもんがあふれ出てきて
自分でもどうしたらいいのかわかんねーんだよ
まぁれおにとっては初めての恋愛だし
自分以外の男と……なんて考えたくないのは
よぉーくわかるよぉ
だけど時間がどれだけ経ったとしても
中里さんとのことはなかったことにはならないよ？
ずーっと今回みたいに悠ちゃんを責めるつもり？

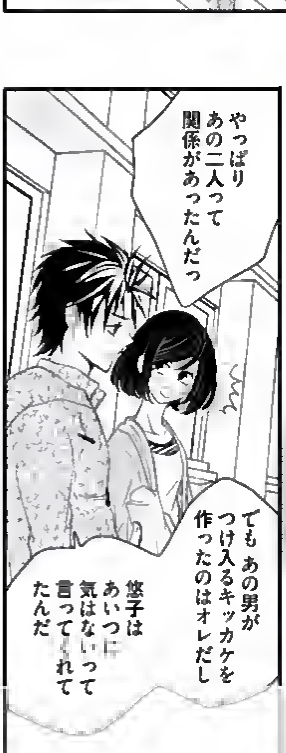
えっ
それ……は
あたしは
大切な二人が
キズつけたり
キズついたりしてる
ところなんて
みてらんない
んだよね
だったら
いっそ
別れちゃえば？

第16話「まっすぐ恋愛してる?」

「だったら
別れちゃえば？」
「だいたい
悠ちゃんは友美ちゃんのこと
れおちんの初恋相手だって
知ってたのに」
「二人のこと
責めたり怒ったりした!?」
「そこをよく
考えた方がいいよっ」
はあ…
んなコトは
言われなくても
わかってんだよ

おわっ
びっくりすんだろーがっ
何度か呼んだけど自分が気づかなかったんでしょ!!
ボヘーっとして!!
れお お昼は？
いつもお弁当なのに
…忘れた
じゃ1コあげる
ポトリ
いーよハラ減ってねーし
いーからっ
ガサ
このあいだあたりちらしちゃったお詫びだから

中里さんに宣戦布告されたの!?



…だけど
仕事では
ずっと一緒な
わけだし
しかも相手は
オレなんかより
見た目も中身も
ずっと上で
情けねーけど
自信がどんどん
なくなってる…
悠子は何も
悪くないって
わかってても
あたってる
自分が
イヤなんだ
れおは…
悪くないよ
なで
なで

ちゃんと
まっすぐ恋愛
してるよ
あたしが
もっと
しっかりしてたら
あの時オレが
ヘンな意地
張んないで
ちゃんと
気持ち
伝えてれば
こんなことには
ならなかった
はず
ピリッ
きちんと
けじめ
つけなきゃ
中里
マネージャー
おはよー
ございます
おつかれさま

休憩室
梶原ちゃん
先に休憩
もらうね
はい
いって
らっしゃい!!
ちら
お忙しいのに
お呼び立てして
すみません
いや
オレも
話があるから
気にしなくて
いいよ

電話ではなく
どうしても直接お話をしたかったので
オレもだ
ちょっと早く出勤しすぎちゃったし時間つぶそー
AUTUMN collection
キョロ
席空いてるかなぁ…
あっ
キョロ
ズッ
何話してんだろ…

どうして
れおに色々
話したんですか
れおと
つき合う前の
ことまで…
たとえ
おまえには
オレに気がない
としても
オレの気持ちが
おまえに
向いている以上
彼の知らない
ところで
コソコソ
するのは
フェアじゃないと
思ったからだ
あたしに黙って
勝手に言うことが
フェアなんですか!?

…だよな
へ？
本当のところは
売り言葉に
買い言葉というか
彼に会って
自分の気持ちを
抑えられなかったん
だよな…
たしかに
あのタイミングで
伝えたのは
悪かったと思う
でも
このあいだ
宣戦布告
したことは
後悔
してない

今までは このまま
いつも中里さんの
ペースにのまれてた
けど 今日は違う
あたしは
中里さんのこと
この4年間ずっと
尊敬していたし
憧れてました
だから
色々うまくいかない時に
手を差し伸べられて
一度は寄りかかろうと
したんです
でも
それはただの
「逃げ」でした

中里さんと
こうして一緒にいるのは

男女の関係に
なりたかったわけ
ではなくて

お互いの夢を
叶えたかったからです

だから
本当に悪いのは
あの日 安易に
楽になろうとした
あたしだと思います

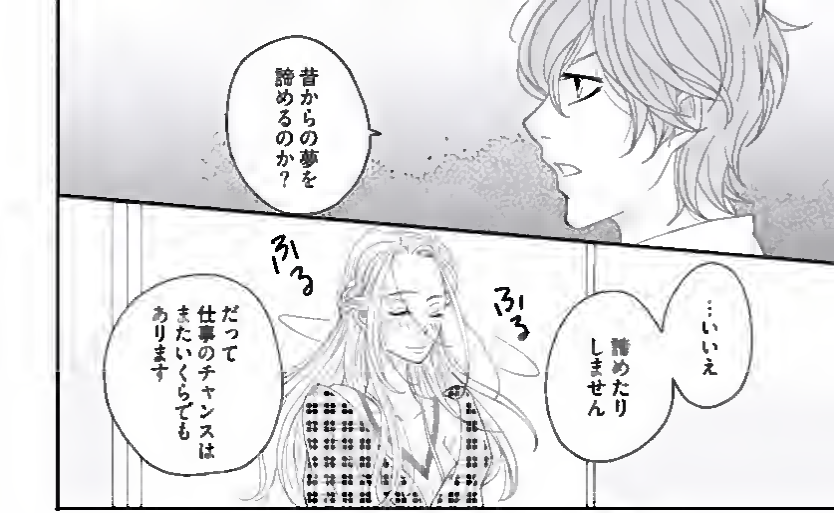
だから
決めました

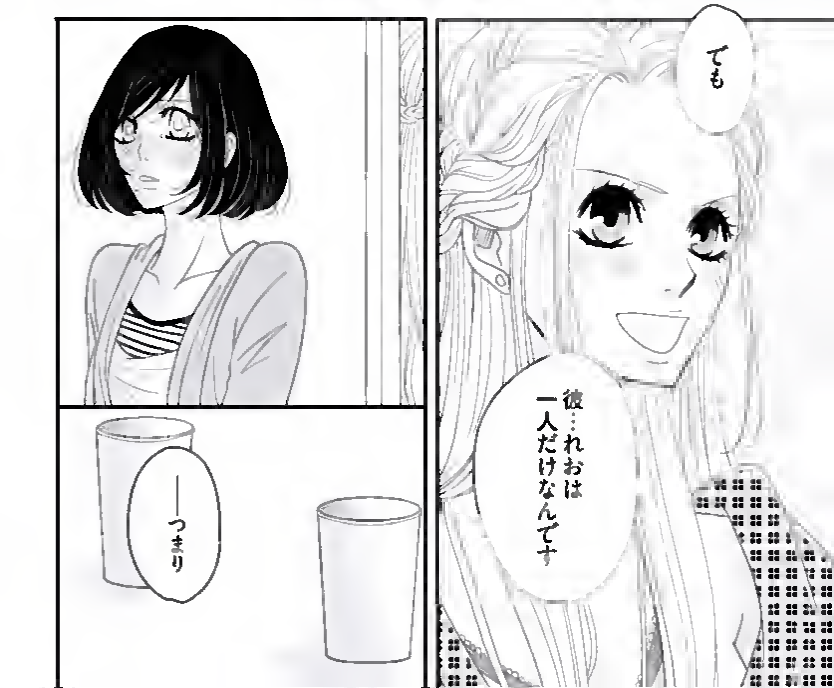
これが

あたしを
新ブランドの
企画から
外してください

あたしのけじめ

頑張るんじゃなかったのか？
半年前はそう思ってました
でもそれはあくまでも彼がいたからなんです
彼が迷いや不安をとり払って背中を押してくれたから
いつだってそばで応援してくれて
時には体当たりであたしに自信をくれたからなんです
そんな彼のあんなに悲しいカオは見たくないし
キズつけてまで中里さんと仕事を組むことは
できませんっ


昔からの夢を諦めるのか？
…いいえ
諦めたりしません
だって仕事のチャンスはまたいくらでもあります

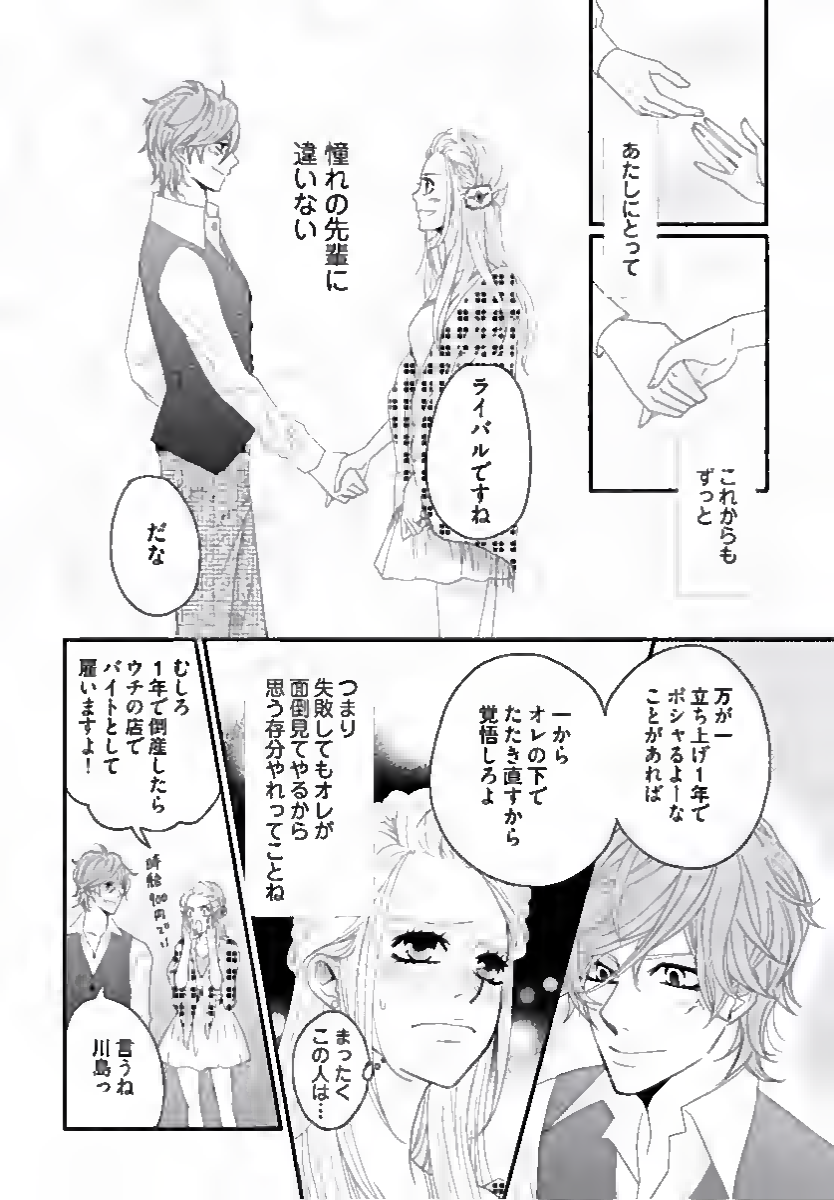

でも
彼…れおは一人だけなんです
――つまり

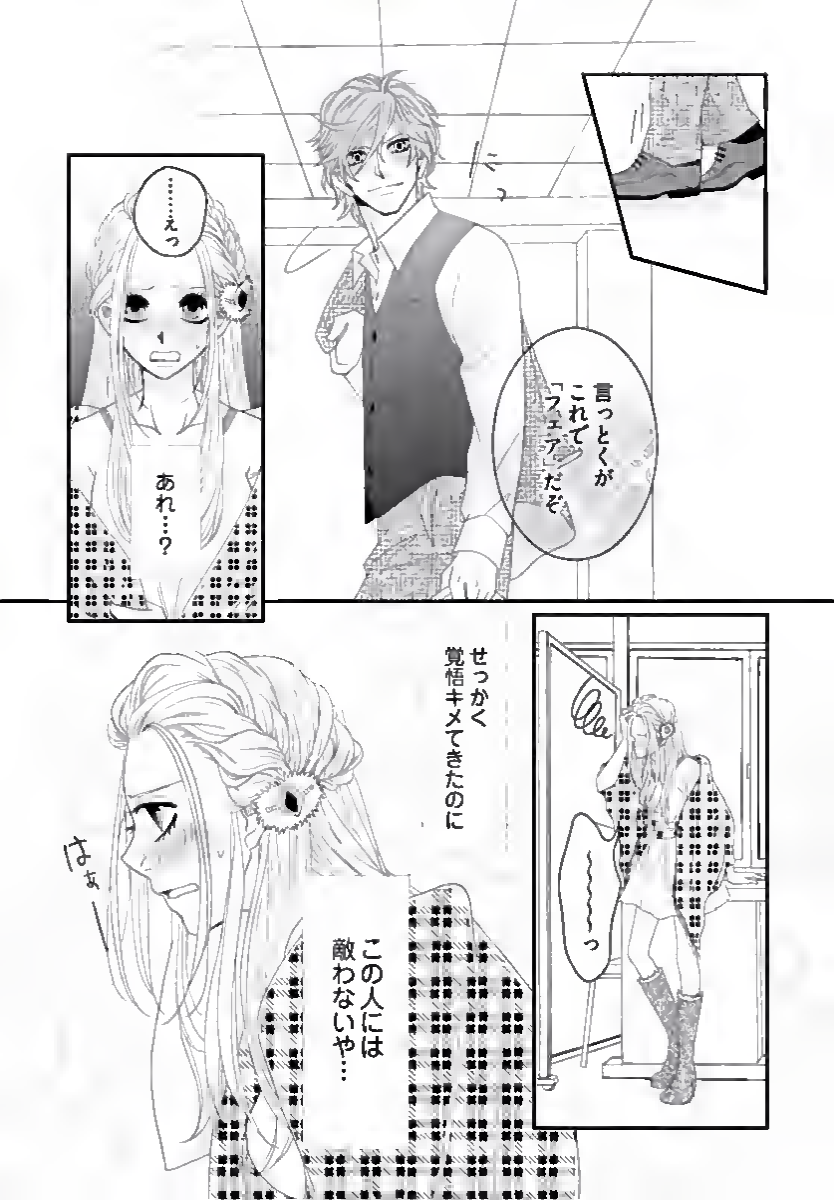
オレ無しでもやれる自信はあるんだな？
…え
だだめっ
ひるむなっ
ああありますよっ
今の川島の言葉でやっと決断できた
え？

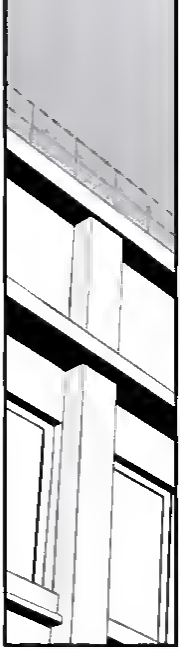
オレが
会社を辞める

や……
…辞め…る？
言っとくがおまえのせいじゃないからな
カン違いすんなっ
半年前
新ブランドの件が
延期になった時
4年前に
退職した先輩から
独立しないかって
誘われてたんだ

そろそろ一から自分の力を試したいって思いもあったし
コト
正直この半年ずっと迷ってたんだ
おまえなら大丈夫だ
新ブランドの件あとは任せたぞ
えっ
お互い新ブランドを成功させよう
やっぱりこの人は


これからもずっと
あたしにとって
憧れの先輩に違いない
ライバルですね
だな
万が一立ち上げ1年でポシャるよーなことがあれば
一からオレの下でたたき直すから覚悟しろよ
つまり失敗してもオレが面倒見てやるから思う存分やれってことね
まったくこの人は…
むしろ1年で倒産したらウチの店でバイトとして雇いますよ！
言うね川島っ


言っとくが
これで
「フェア」だぞ
にっ
……えっ
あれ…？
～～～～っ
せっかく
覚悟キメてきたのに
この人には
敵わないや…
はぁ



めちゃくちゃ
愛されてんじゃん

「彼の
あんなに
悲しいカオは
見たくないし
キズつけてまで
中里さんと仕事を
組むことは
できませんっ」
店長は
れおだけを
想ってる
「本気で好きな女
傷つけるよーなマネ
ぜってーしねぇ」
「彼の知らない
ところで
コソコソするのは
れおも
片想いの
中里さんでさえも
フェアじゃないと
思ったからだ」

みんな
まっすぐ
恋をしてる
本気で
向き合ってる
ちゃ
131°
あたしは
だけど
指輪を
見つけても
見ないフリ
いつも自分からは
会いたいなんて言えずに
ただ着信を待ってる
そんなのは
もういやだ

あたしだって
本気で向き合える
恋愛がしたいよ
いれて
あげようね…
んっ
ギッ
ギシッ
きょ…うじゅ
ギッ
ん？
ギッ

今度の週末
…家に
遊びに
きませんか？

きみは
実家暮らし
だろう？
私が伺ったら
ご両親が
驚くよ
はは！
大丈夫です
きちんと話して
おきますから
今後のこともあるし
一度挨拶して
もらえませんか？

付き合うなら
誰にも話さず
二人だけの秘密に
するって
…でも
初めに
言ったよね
それは
できない
きみが約束を
守れないのなら
私はこの関係を
無理強いする
つもりはないよ
それだけ？

悩むところか

顔色ひとつ変えずに…

教授にとってあたしは
それだけの価値しかない女

もう
自分をごまかせない

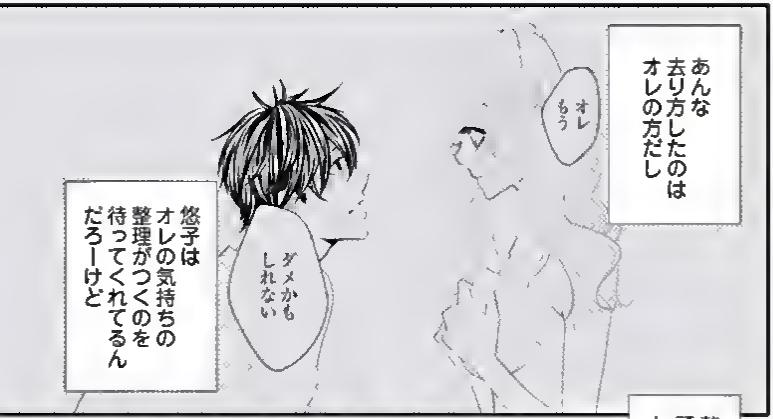
ずっと
目を背けて
きたけど

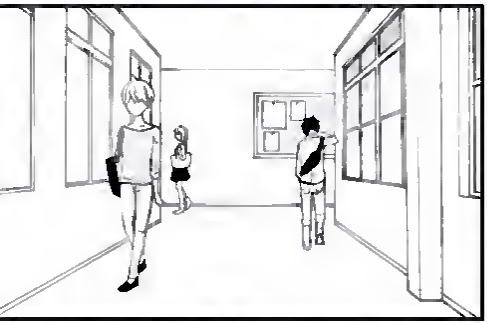
これは

あたしが憧れていた
恋愛なんかじゃないんだ

第17話「ぜったい誰にも渡さない!!」

悠子から
逃げ出した日から
もう3日たつ……
メールボックス
受信
VIP
下書き
送信済みメッセージ
悠子からは
電話どころか
メール一本きてない
はぁ……


あんな
去り方したのは
オレの方だし
オレ
もう
悠子は
オレの気持ちの
整理がつくのを
待ってくれてるん
だろーけど
ダメかも
しれない



あ

整理どころか
頭ん中モヤモヤ
しっぱなしで
まだ電話する
勇気はねぇ…

友美？
なんか様子おかしいな
しかも教授の部屋の近くで…
ウロ
ウロ
ぜんぜんオレに気づかねえし…
ヒルク
どーした？
え…いや…

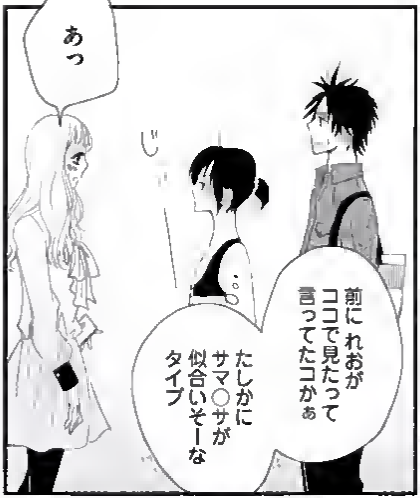
…また
なんか
あったのか？
ないよ
なーんにも
ないっ
だから
コレ…
返そうと
思ったの

サマ○サのリング
つけるようなコに…
バスルーム
使わせてた…
それ…
あの時の…
つーか
そのこと
問いつめたら
関係が
終わるって
言ってたじゃ
ねーか
そうだよ
恋は盲目
ってやつで
色々マヒ
しちゃってたけど
こんな関係は
はじめっから
なんにもないのと
同じだって
やっと気づいた
だからもう
終わらせるって
決めたの

友美…
でも
いざとなったら
ちゃんと
言えるか不安に
なっちゃって
……
あっ
だったら
オレがそばで
背中押してやる
えっ
あいつがなんか
してきても
オレが守って
やるから
友美らしく
あいつの鼻にでも
つっこんで一発
くらわせてやれっ(笑)
にっ
何それっ
クス

ありがとっ
教授だったら
今ちょっと
出てますよ
……あ
あの時
教授とイチャイチャ
してた女!!

予想外の展開にフリーズ中。


あっ
じ…
前にれおがココで見たって言ってたココかぁ
たしかにサマ○サが似合いそーなタイプ

教授～

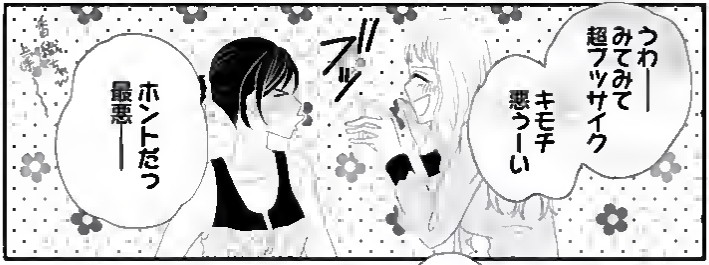
ちょうど
きっきお客さん
来たとこですヨ
たたた。
そうか
留守番
ありがとう
香織
もう
いーよ
コレ返して
さっさと
帰ろっ
コレ
あなたのでしょ
教授の
マンションの
バスルームに
落ちてたの

は？
あたしのじゃないんだけど……
こんなに指太くないし
え!?
…あぁそれね
母が上京した時に忘れていったんだろう
うちの母は少しぽっちゃりなんだ

お母様っておいくつなんですか？
…あぁ今年で65かな
65歳の女性が
かして
はい
サマ○サのリングなんて
ブッ
つけるわけないでしょっ

とんっ
ほんとにやだよ
いてて…
コロ
こんなのいつものキミらしくない…な
いつものあたし？
オドオドと顔色うかがって言いたいことも言えない女がですか？
そんな女は願い下げだっつ——の
グッ
メリッ
メリッ
メリッ
メリッ

はいはい
動かないで～～


うわ――
みてみて
超フッサイク
キモチ
悪うーい
ブッ
ホントだっ
最悪――

コレ傑作だから
学校中に
回そーよ♡
いーねー
やろやろ
まぁ
自業自得
とはいえ
ザ結託☆
女って
こえぇー!…

コ
ン
ッ
あ――っ
スッキリしたあ
つーか
マジで
鼻につっこむ
とはなぁ――
ちょっ
ぴかった

だって
あそこまで
最悪な男だとは
思ってなくて…
気づいたら
手が出ちゃって
たのっ
何よ
プッ
やっと
いつもの友美に
戻ったな
だね

ありがと
えっ
なんも
してない
じゃん
ちがうよ
3人の
おかげなの
3人？
店長が中里さんに
新ブランドの件を
降りたいって
言ってたの
聞いちゃったんだ
は？

なっ
なんて
そんなこと
なんてって
中里さんのことで
悲しむあんたの顔
見たくないって
言ってたよ
仕事のチャンスは
またいくらでも
あるけど
れおは
一人しかいない
からって
オッ
オレは
そんなこと
望んで
ねーよっ
オレが
あんな
追いつめる
ようなこと
言ったせいだ…

あんなにやりたがってた仕事だったのにオレのせいで…
ちがうそーじゃないのっもぉ〜〜〜っ
最後までいてよっ
え？
結局 中里さん自分は会社を辞めるから
店長にブランドの立ち上げをやれって言ってたの
会社を辞める!?
もともと新ブランドは店長に任せて独立するつもりだったみたい
あの男そんなこと考えてたのか
——それに

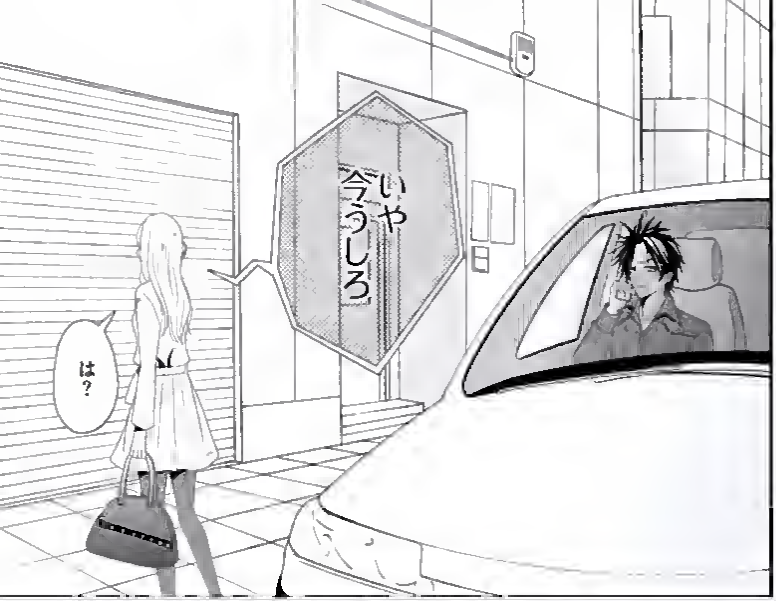
上司のままじゃ
あんたとフェアじゃ
ないからって
キ
あたし
あの二人のこと
カン違いしてたよ
店長は
れおのこと
とても大切に
想ってるし
中里さんも
本気で恋を
してるだけ
もちろん
れおも

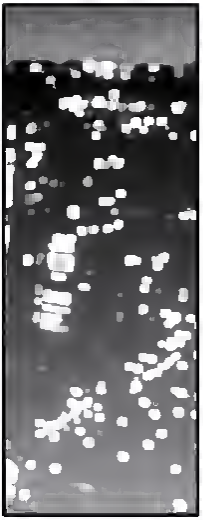
あんたたち
3人のこと
見てたら
自分が
情けなくなって
きちゃったんだ
んなこと
ねーよっ
友美だって
一生懸命
だったろーが
くやしーけど
正直
羨ましかった
ちがうよ
初恋に
しがみついてた
だけ
本気で
愛されちゃってる
あんたがさ

——てことだから
ばっ
ちん
自信を持て!!
返事は?
…おう

あ
次こそ
あんたたちに
負けないくらい
まっすぐな
恋愛するからねっ
みてなさいっ

3日がこんなに長く感じるのははじめてだよ
はぁ
今頃れお何してるのかな
ドキ
ドキ
ううんっ
そっちは家？
もっもしもしっ
仕事終わった？
ヒソッ
着信
れお
ヴヴヴヴヴ
新着Eメールはありません
はぁ
あれから3日たつけどれおからメール一本きてない…


いや
今うしろ
は？



急に会いにくるなんて
まさか別れ話とかじゃ
ないよね…？
ドキ
ドキ
急に
おしかけて
ごめん
ヒク
あ…
うん…

悠子の顔
見たくなったんだ
あたしも
☆いたかった
あのね…あたし
中里さんのこと
ごめんっ

…え
いきなり
大声だすから
びっくりした
おれ 今はもう
あの人と悠子が
裏で何かあるとか
思ってねーから
ただ
不安だったんだ
見た目も中身も
オレより
ずっと上で
オレが知らない
悠子を知ってる男に
宣戦布告されて…
…うん
そのキモチは
痛いほど
よくわかるよ
あたしも少し前は
同じように不安で
いっぱいだったから

悠子とちゃんと付き合ってからは

すげー大人になったつもりでいたけど

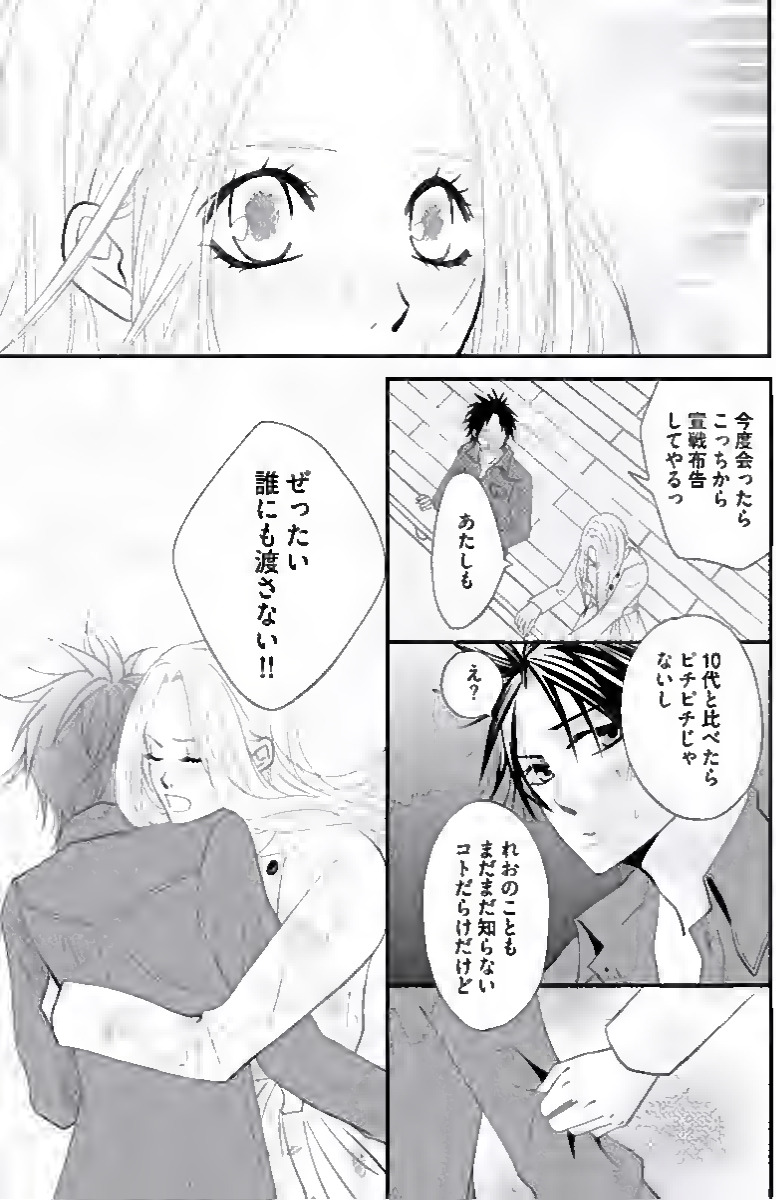
実際はゼンゼン成長なんかしてないって気づいたんだ

けど決めたからっ

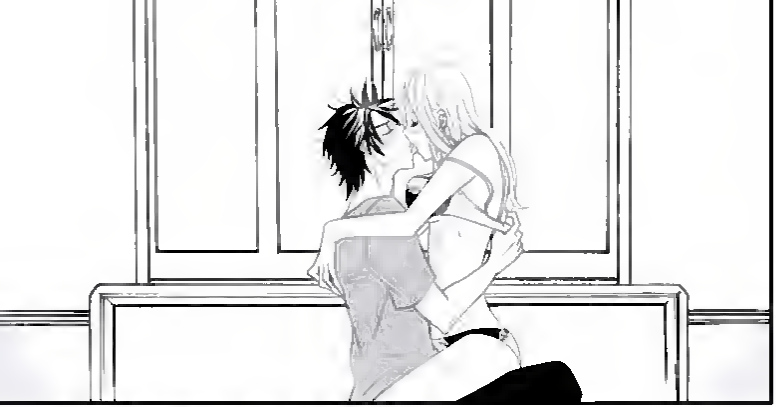
えっ何を？

今は何ひとつ勝ってねーけどけどっ

あんなやつぜって――越えるからなっっ


今度会ったら
こっちから
宣戦布告
してやるっ
あたしも
10代と比べたら
ピチピチじゃ
ないし
え？
れおのことも
まだまだ知らない
コトだらけだけど
ぜったい
誰にも渡さない!!

HOTEL
PiPiON



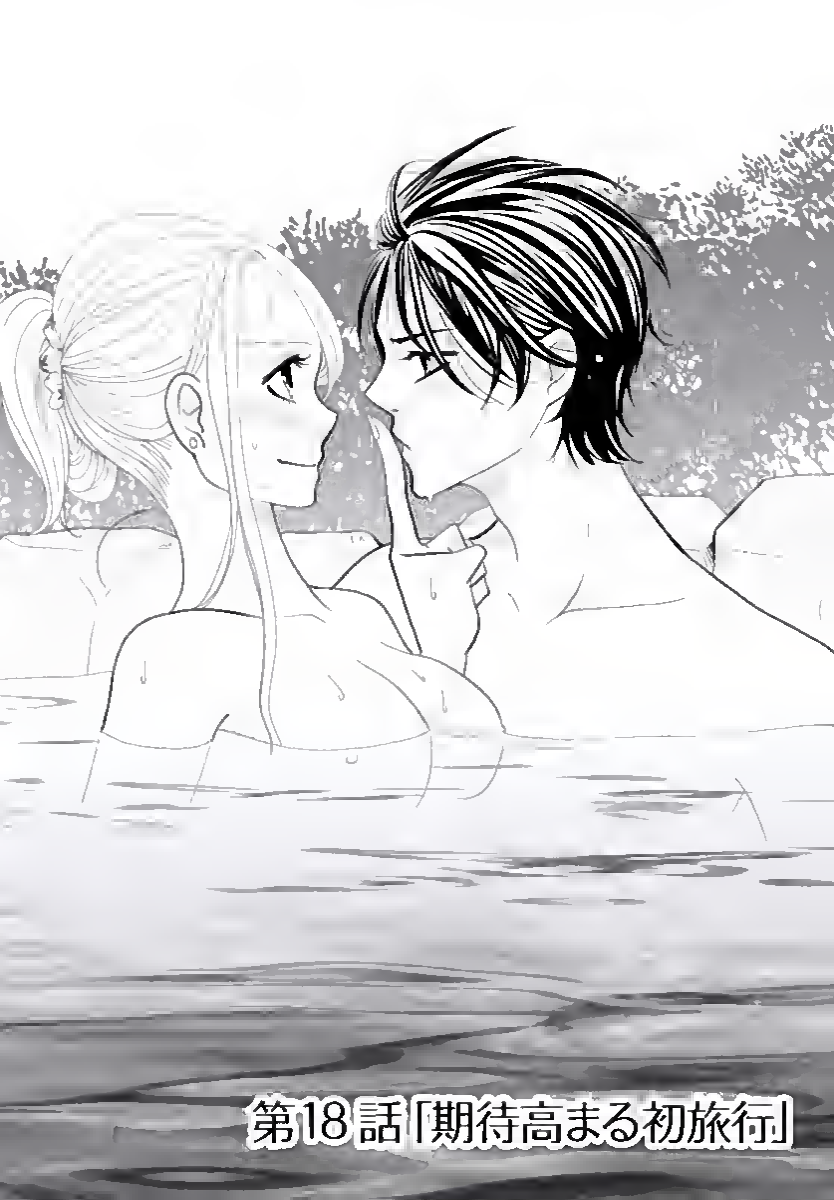
なんか
こーゆーとこで
するの久々だね
なんか
新鮮で
いーじゃん

そーいえば
あたしたちって
遠出とか
してないよね
んー
たしかに

んっ
あっ
あっ
ひゃっ
あ…あっ
来月どこか
旅行でも
行こっか
旅…行？
はぁっ
はぁっ

だって
年末年始は今年も
忙しいんだろ？
だから
その前に
行きたい!!
カコ
ネ――っと
11月だからぁ
紅葉シーズン
だよねっ
ってことは
ドライブと
温泉と――
あっ
ちゃんとするの
久しぶり
なんだから
ちゃんと
味わわせてよ
いただき
ま――す
ちょっ…
くすぐったいよ
れおは
ぜんぜん成長して
ないって
言ってたけど

ほんとは
どんどんいい男に
成長してる
あぁ
だから
嬉しいけど
置いてかれ
ちゃいそうで
正直心配
あたしも
いい女に
ならなくちゃ



第18話「期待高まる初旅行」

Amanda Cat
ちらほら
噂は耳にして
いると思うが
来年の春に
アマンダキャットの
姉妹ブランドを
立ち上げることが
決まった
デザイナーは
デザイン企画部の
若林(わかばやし)りん
それと
立ち上げの責任者は
川島を選任する
ことになった
これから少し
バタバタするが
みんなで
サポートを頼む
えっ

それって店長どこかに行っちゃうってことですかっ
どこにお店できるんですかっっ
あたしも連れてってください
おっ
店舗候補はいくつかあってまだ決まってないんだけど
年内は新宿店の店長も兼任するからよろしくね
ついて来たい奴は考えてやってもいいぞ
ん？
店長～～～っ
……
たたたっ
あと君たちには直接関係ないが
オレも年内に会社を退職して
新しく会社を立ち上げることになった
ほんとに会社辞めちゃうんだ

なんか
すごい人だな…
みんな大騒ぎだったな
梶原くんて泣いてたし
あたしももらい泣きしそーになりました

もしかして
店に残りたく
なったか？
そっ それは
ないですっ
一応
伝えておくが
今回の
新ブランドの件
何人か責任者に
立候補してた奴も
いたんだぞ
そうだったん
ですかっ!?
ぜんぜん
知らなかったっ
そんな中で
おまえは
選ばれたんだ
やると
決めたからには
本気で挑めよ
はっ
はいっ

ぱっ
中里さんの言うとおりだ がんばるぞっ
おつかれさまですっ
じゃおつかれ
あ
くつろぎの時間
日帰りの旅
温泉…
パラパラ
『来月どこか旅行でも行こっか』

来月ってことは
そろそろ決めた
ほうがいいよねっ
ワク
ワク
けっこー
たくさん
パンフレット
あるんだ——
あ——
これも
いいな——
休憩室
海が見える
露天風呂
かぁ〜〜〜
のんびり宿
でもでも
貸し切り風呂も
すてがたいっっ
隠れ里
あ——っ
初旅行かぁ
テンション
あがる〜〜〜っっ
ハン
ハン

紅葉のキレイな山道をドライブして
自然の中を二人でお散歩
(注)あくまでも脳内イメージの姫です。
かわいい細工のお土産を見て

趣きのある
レトロな旅館
貸し切り風呂で
ちょっとだけ
イチャイチャして
悠子
カタく
なってるよ？
ちゃぷ
だめだよっ
ちゃぷ
貸し切りなのに
何がダメなの？
だって――
あ～～っ
さらに
イチャイチャ
して♡

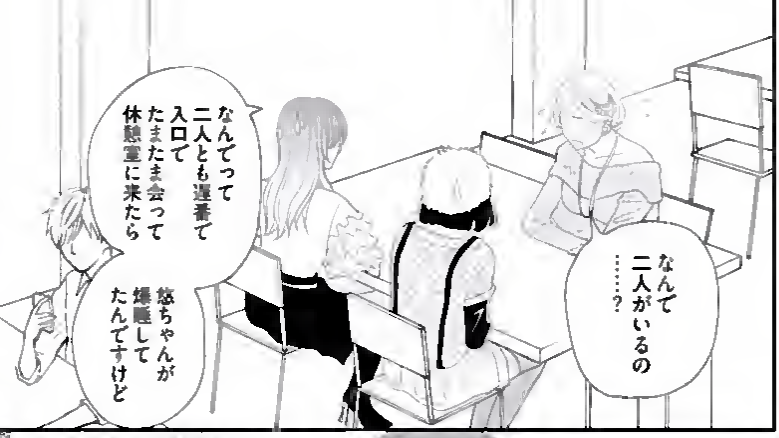
ちょっと豪華な
懐石料理を食べて
サンキュー
はいどーぞ
ほろ酔いで
いい感じに
なんか
回ってきちゃった
オレも
(注)ジンジャーエールです
行こ

なんかいいね
え
浴衣って
エロい
すげー
そそる

れろ…
ぴくっ
ぴく
ぴくっ
トロ
サァァ
あんっ
ちゅっ

やっ
だめっっ
あぁっ
ちゅ
ちゅ
悠子も
すげー興奮
してんね
かわいすぎ
も…
はや…くぅ
お…
お願い…
ほしー…よっ

はや……くぅ
何がほし――の？
!?
ぱちぃ
じ――――っ


なんで
二人がいるの
……？
なんでって
二人とも運番で
入口で
たまたま会って
休憩室に来たら
悠ちゃんが
爆睡して
たんですけど

ど——せ
れおちんとの
初旅行の夢でも
みてたんでしょ♡
なっ
なんで
知ってんのっ

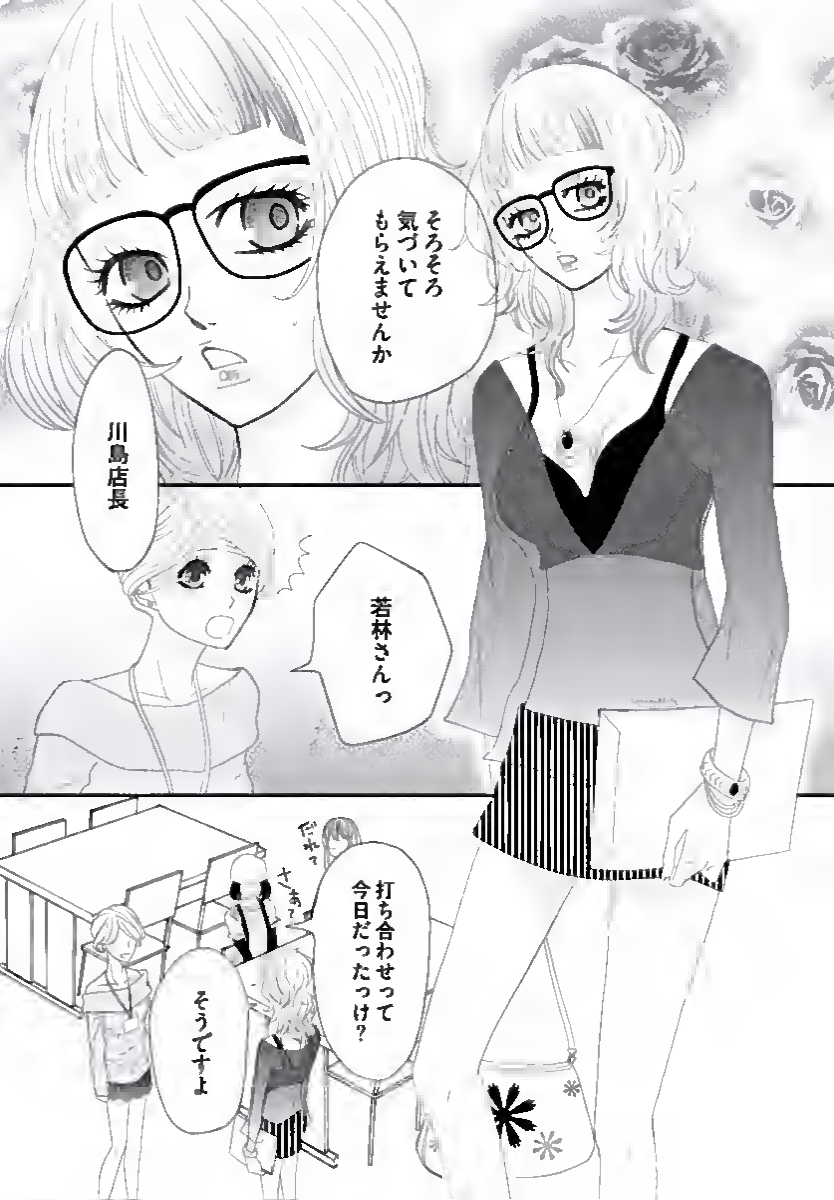
お昼ご飯食べて
そのまま
居眠り
しちゃったんだ…
あはは
そっかー

ほほっ
だって
週末パソコンで
「じゃ●んネット」
ガン見してたもん
ニヤニヤ
しながら

でも相手はあのれおちんだからなあ
やっぱそんなにうらやましくないかも！
あ――…そう言われてみるとそーですね

ラブラブでうらやまし――な――
も～っ
根も葉もない

あんたたちっ
これ以上おちょくるとただじゃおかないからねっ
ぎゃっ
ぎゃっ
ごめんなさい
――あの


そろそろ
気づいて
もらえませんか
川島店長
若林さんっ
だれっ
さぁ？
打ち合わせって
今日だったっけ？
そうですよ

ちらっ
びくっ
びくっ
あっ
大丈夫っ
この二人は
ウチのスタッフと
友人だから
そうなんですか
アマンダキャノン
デザイン企画部の
若林りん
と申します
彼女はこれから
新ブランドの
デザインや
あたしのサポートて
度々
打ち合わせに
来るから
よろしくね

ところで
先日お渡しした
ブランドロゴと
カラーの案件
ですけど
まとまって
ます？
ーぁ
ごめん…
打ち合わせ
来週だと
思ってたから
……
…まだ
できてなくて
は？
あたし
ちゃんと
今日って
メールしました
よね？
申し訳ない
あ…
だよね…
まぁーまぁ
落ちついてよぉ
悠ちゃん
彼との初旅行で
テンパっちゃって
てたのよぉ——
許してあげて——♡
みっ
みかーんっっ

のんびりな
若手NO.1の川島店長ともあろう人が
一体どうしちゃったんですか？
くるっ
新ブランドの責任者って立場はわかってますよね？
しゅん
…ごめん
何も言い返せない…

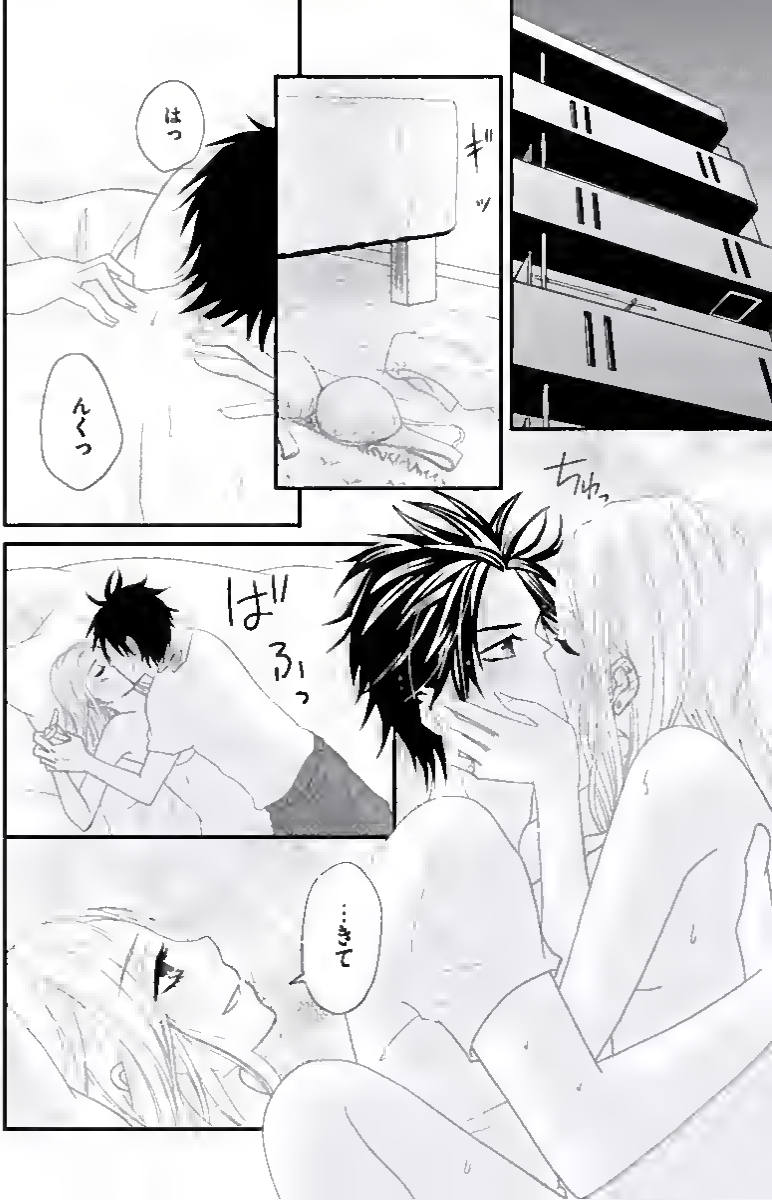
開店早々
寿退社とか
カンベンして
くださいよー
二人はそんな
無責任な
つき合い方
してませんよ
何も
知らないくせに
そういう言い方は
やめてくださいっ
いいの
悪いのは
あたしの方
だから
店長…
近々に
もう一度
時間作って
もらえないかな
都合は
合わせるから
じゃあ
近日中にまた
メールしますので

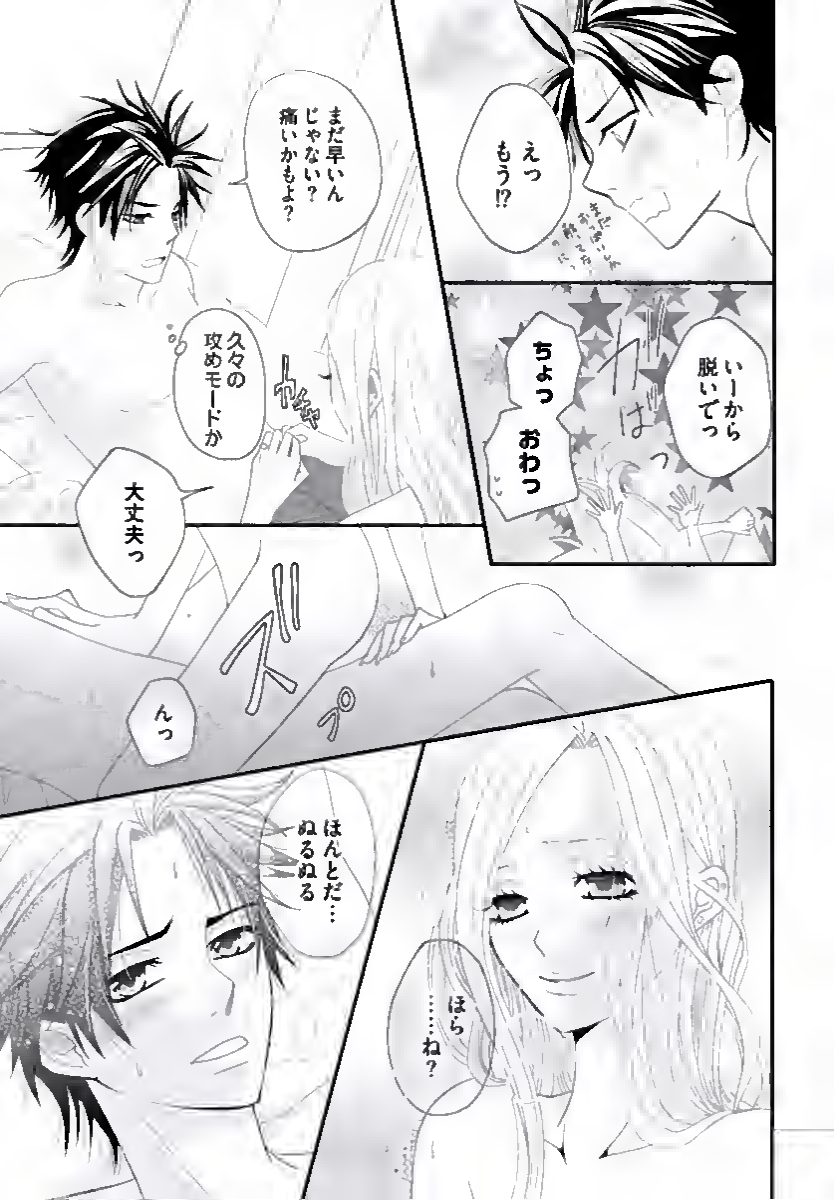
ピタ
そのブラウスうちのですよね
2年前のヤツ
びく
あ…はい
それあたしが初めて一人でデザインした服なんです
にこぉん
お買い上げありがとうございます
くるっ
脱ぐ――っ
脱ぐ――っ
くやし――っ
落ちついてくださいっ
うわぁぁん
悠ちゃんなんなのあの女ぁ～～っ
悠…ちゃん？

ごめん
あたしが
よけーなこと
言ったから
あんな嫌味
言われちゃって…
みかんのせい
じゃないよ
彼女の
言うとおり
責任ある
仕事を任された
人間として
最悪だもん
ごめん
先戻るね
またあたし
プライベートと
仕事をごっちゃに
しかけてた
それだけは
絶対だめだ

中里さんは
「おまえは選ばれたんだ
やると決めたからには
本気で挑めよ」
「新ブランドの件
あとは任せたぞ」
あたしを信じて
すべて
託してくれたのに
こんなんじゃ
申し訳が
立たないよ
もっと
気をひきしめ
なくちゃ

第19話「可愛くないオンナ」


はっ
ギッ
んくっ
ちゅっ
はぁ
ふぅっ
…きて


いーから脱いでっ
ちょっ おわっ
はっ
えっ もう!?
まだ早いんじゃない？痛いかもよ？
久々の攻めモードか
大丈夫っ
ズプ
んっ
ほんとだ…ぬるぬる
ほら……ね？

ぐりんっ
今度はれおの番
オッケ
あっ
やっ
ズッ
ズッ
あっ
やばい…もー出そう
いいよっ
き…てっ
あんっ
あっもっと…っ

カリカリカリカリカリカリカリカリ
ばっ
ふぅ――っ
ガバっ
いない
あれ？

ぼすんっ

それ仕事？
あうん
今週中に新ブランドの企画書まとめなきゃなんなくて

ふーん
今週は忙しいんだ…

ちょっとどーしたの？
べつに
なになにっ気になる〜〜〜っ

すっ

PINK×ZOMBIE
先行上映会
「ピンク×ゾンビ」のオールナイト先行上映チケット!?

クラスの奴が
行けなく
なったからって
くれてさっ
ホラ
前に観たいって
言ってたじゃんっ
ってっ
ても
忙しいなら
いーや
来月旅行
あるしっ
大丈夫!!
25日の夜なら
次の日休みだし
企画書も
明日には
終わると
思うから
行こっ
…あっ
25日は閉店後
若林さんと
打ち合わせの約束
してたんだった
若林さん
って?
やばっ……
新ブランドの
デザイン担当の
女の子だよ
打ち合わせ
終わってからじゃ
間に合わないかも…
じゃあ
オレ車で
迎えに行くよっ
そしたら
間に合う
じゃん
えっ

ありがと♡

おおうっ

アマンダキャットの姉ブランドということで

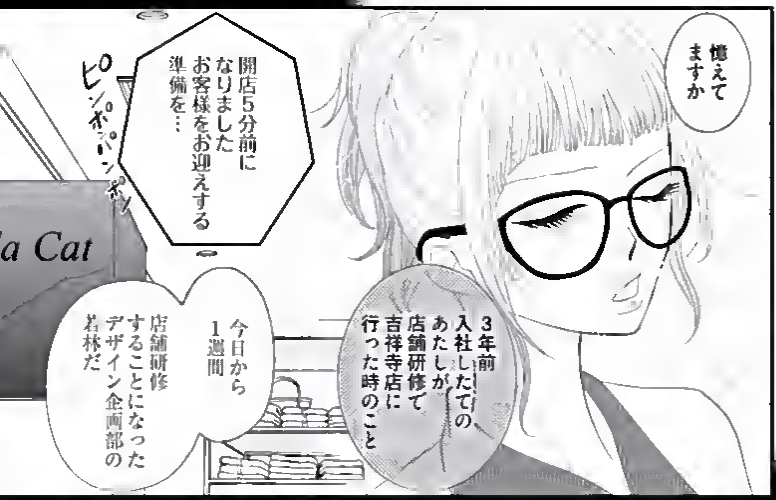
Amanda cat sister spring collection

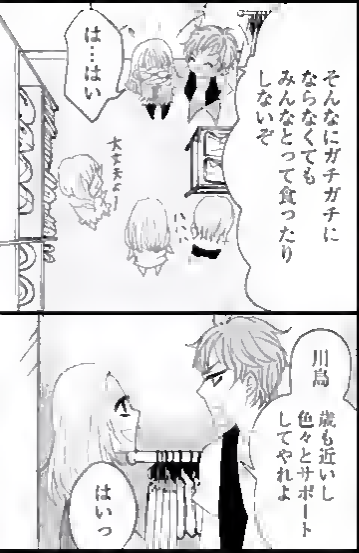
•アマンダキャットシスター•が一番しっくりくると思います

あとは
春物のデザインの
再チェックも
オーケーです
来週サンプル
持ってきますね
あたしも
そう思ってたの

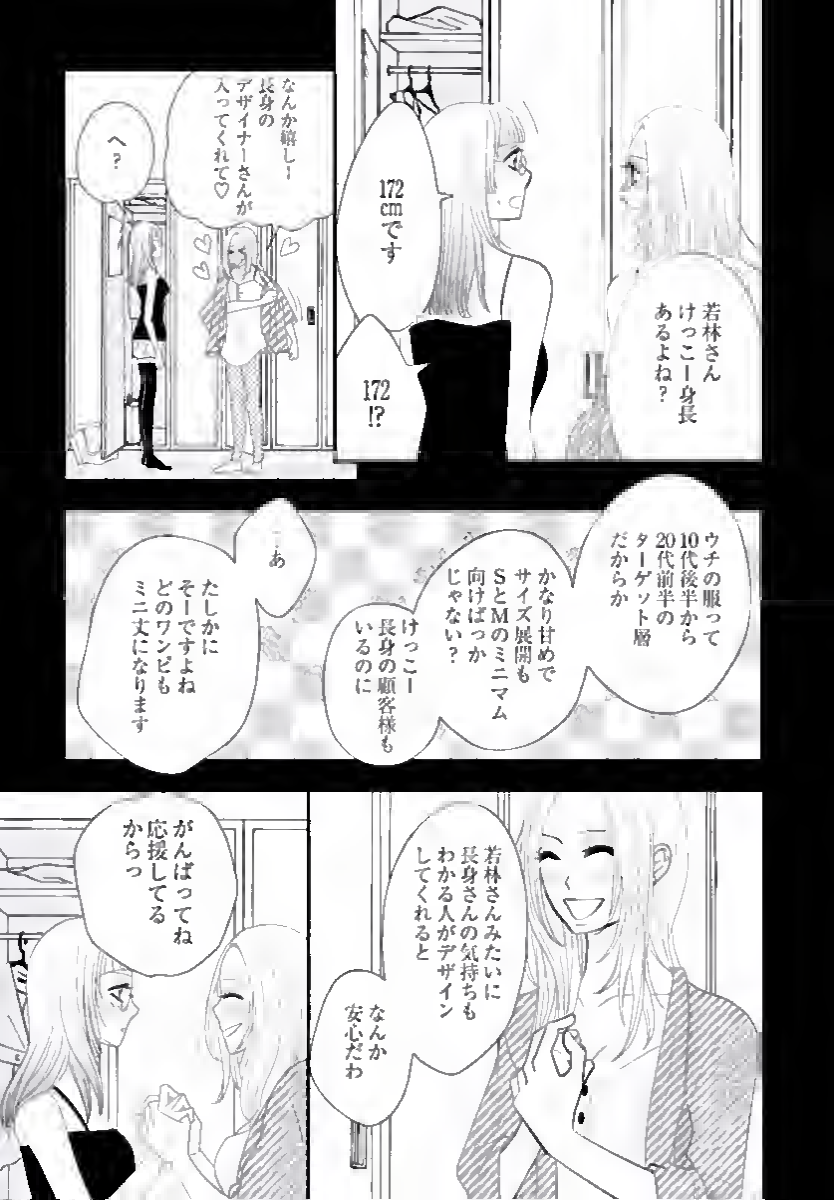
ヴヴ
ヴヴ
色々とカタチに
なってきて
いよいよって
かんじだね
ええ
——あれおかだ

例の彼ですか？
ピシャッ
ギュルルッ
あ…えっと
なんか気まずい…
ウソはNG
そう？…
なんだか川島さん雰囲気変わりましたね
え
出会った頃はもっとギラギラしてたのに
ギラギラ？

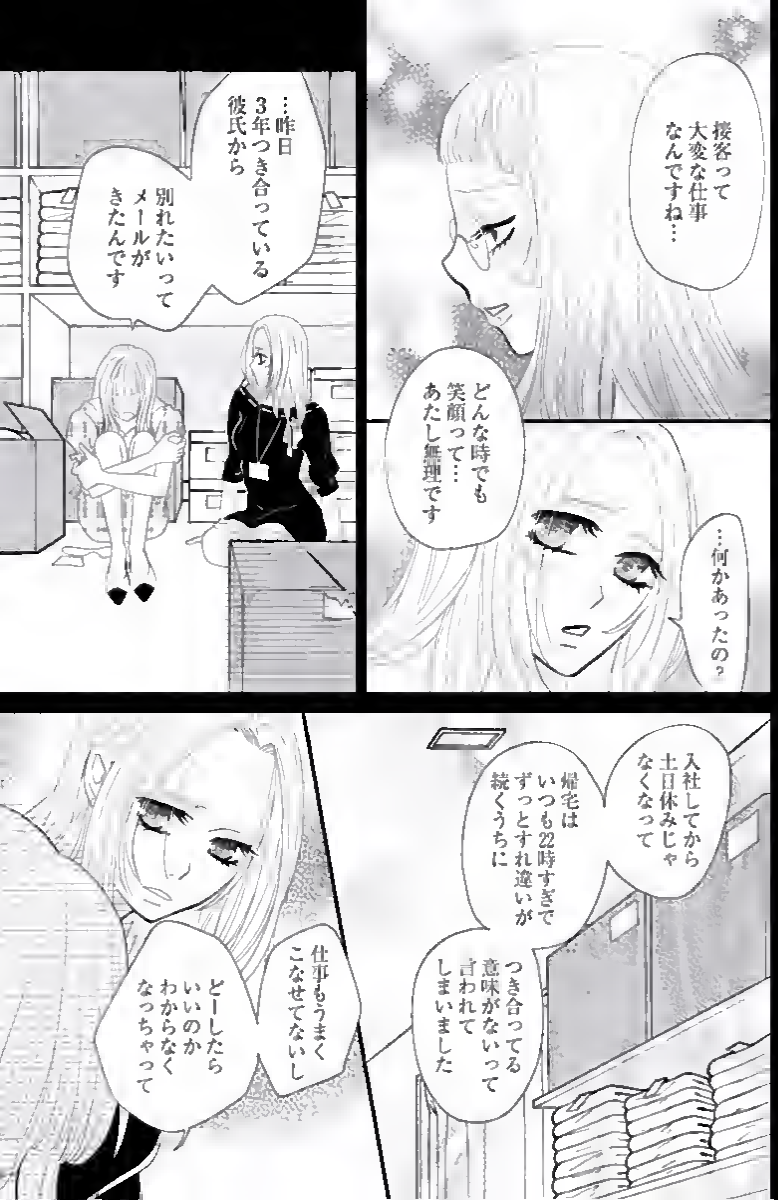

憶えてますか
3年前入社したてのあたしが店舗研修で吉祥寺店に行った時のこと
今日から1週間店舗研修することになったデザイン企画部の若林だ
開店5分前になりましたお客様をお迎えする準備を…
ピロンポロンパン
a Cat


デッ
デザイン企画部の若林りんです…
1週間皆さんとご一緒させていただいて今後のデザインの参考にできるようがんばります
そんなにガチガチにならなくてもみんなとって食ったりしないぞ
は…はい
川島 歳も近いし色々とサポートしてやれよ
はいっ

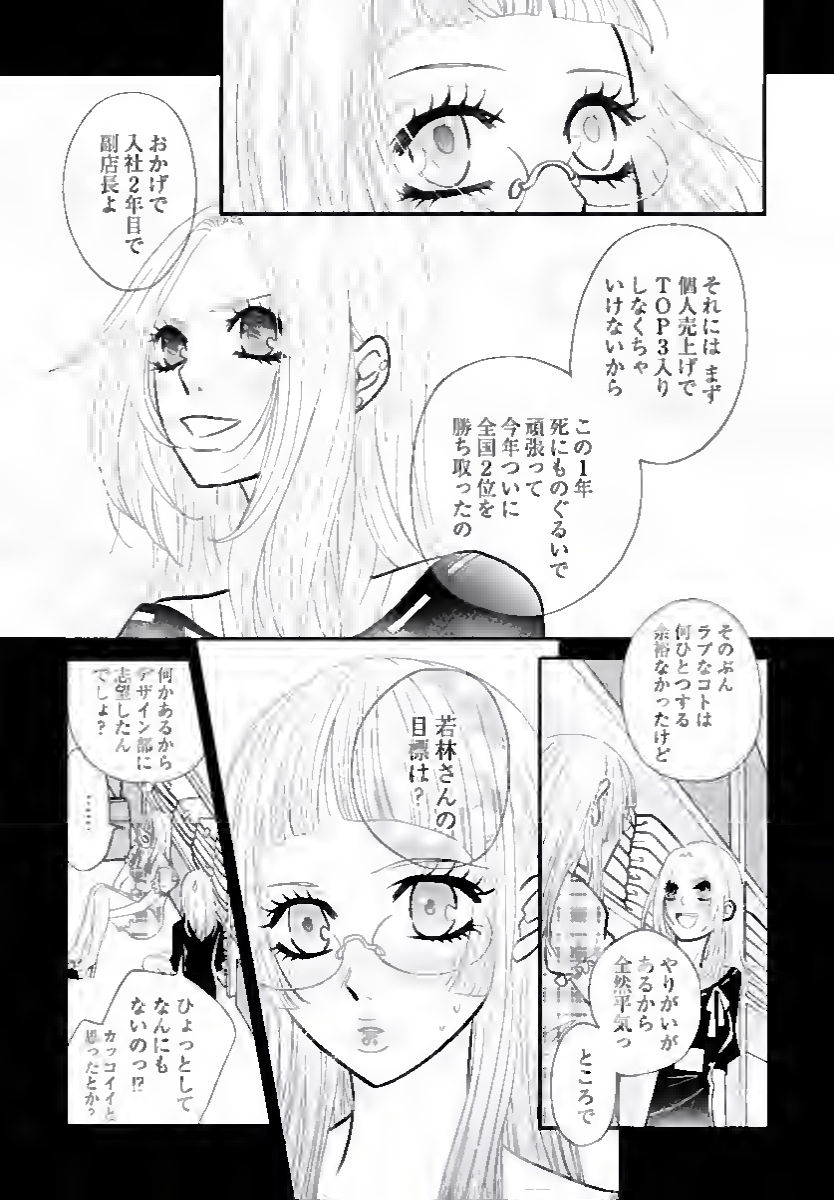
副店長の川島です
よろしくお願いします
うわ…
よろしくお願いしますっっ
ホレッ開店挨拶行くよ!!
あっはいっ
凛としていてでも溢れるパワーて満ちてるかんじで
なんだか1コ上の女性とは思えませんでした


若林さん
けっこー身長
あるよね？
172cmです
172!?
なんか嬉しー
長身の
デザイナーさんが
入ってくれて♡
へ？
ウチの服って
10代後半から
20代前半の
ターゲット層
だからか
かなり甘めで
サイズ展開も
SとMのミニマム
向けばっか
じゃない？
けっこー
長身の顧客様も
いるのに
あ
たしかに
そーですよね
どのワンピも
ミニ丈になります
若林さんみたいに
長身さんの気持ちも
わかる人がデザイン
してくれると
なんか
安心だわ
がんばってね
応援してる
からっ

がっ
がんばりますっ
おうっ
まかせた
まかせて
ください!!
正直すごく
嬉しかったんです
まだペーペーの
あたしに
こんなに期待して
もらえて
川島さんは
仕事も
完璧で
その1週間で
あたしの憧れの人に
なりました
一方あたしは
気合いとは
ウラハラに
もじ
失敗続きで
次第に自信を
失っていました
大丈夫?
川島さん…

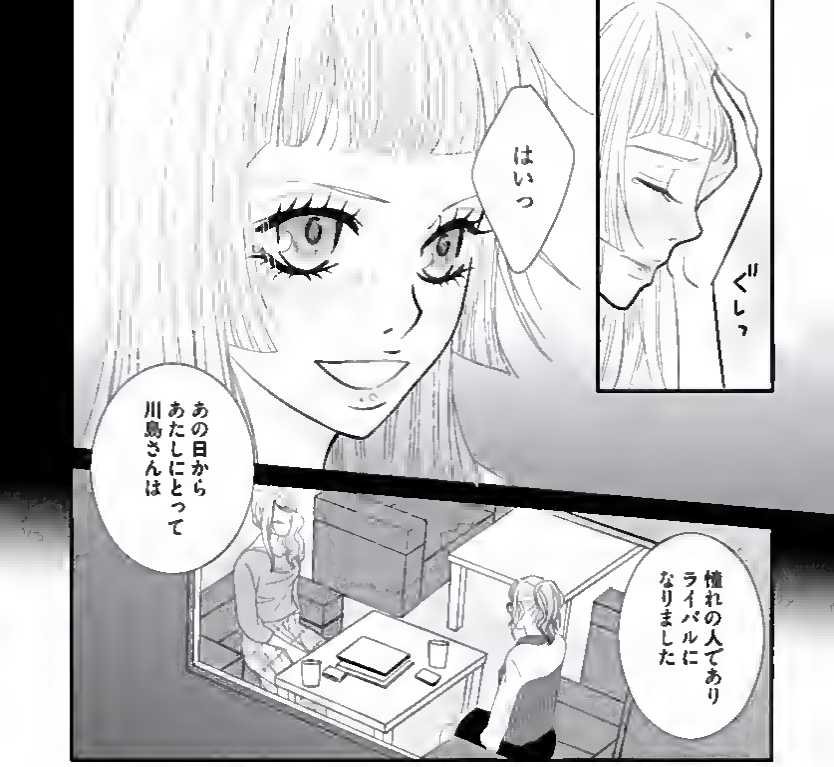

接客って
大変な仕事
なんですね…
…何かあったの？
どんな時でも
笑顔って…
あたし無理です
…昨日
3年つき合っている
彼氏から
別れたいって
メールが
きたんです
入社してから
土日休みじゃ
なくなって
帰宅は
いつも22時すぎで
ずっとすれ違いが
続くうちに
つき合ってる
意味がないって
言われて
しまいました
仕事もうまく
こなせてないし
どーしたら
いいのか
わからなく
なっちゃって

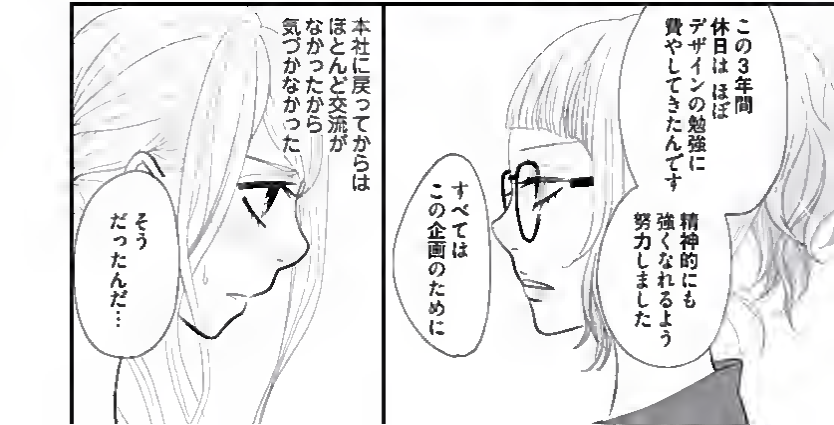
あのねぇ
はじめっから
なんでもうまく
こなせる人なんて
いるわけないでしょ
…でも
川島さんは
1コしか違わないのに
すごく仕事ができてます
あたしだって
1年前は
失敗しまくって
たけど
目標があったから
必死に努力したの
目標…ですか？
いつか
新ブランドを
立ち上げたいんだ

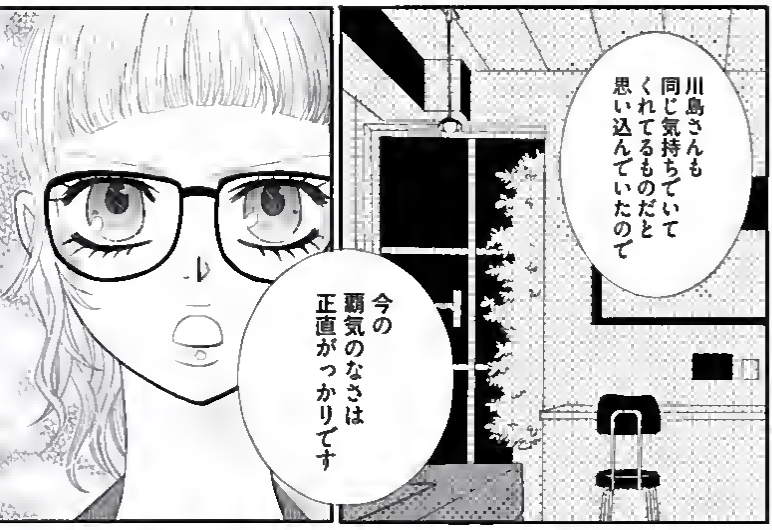

おかげで
入社2年目で
副店長よ
それには まず
個人売上げで
TOP3入り
しなくちゃ
いけないから
この1年
死にものぐるいで
頑張って
今年ついに
全国2位を
勝ち取ったの
そのぶん
ラブなコトは
何ひとつする
余裕なかったけど
やりがいが
あるから
全然平気っ
ところで
若林さんの
目標は？
何かあるから
デザイン部に
志望したんでしょ？
……
ひょっとして
なんにも
ないのっ!?
カッコイイと
思ったとか？

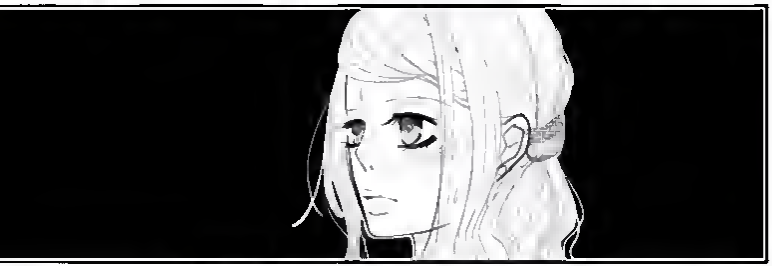
ちがいますっ
くっ
新しいブランドのデザインをしたいんですっ
自分の手で
あ…
あたしも
それって本気？
本気です
だったらもっと強くならなきゃ

言っとくけど
デザイン企画部以外にも
新ブランドのデザインを
やりたいっていうスタッフは
少なくないの
ちょっとしたことで
自信喪失するような
中途ハンパな
気持ちでは
絶対勝ち取れないよ
その時
自然と自分の迷いが
消えたんです
あたしも
頑張れば
川島さんのように
なれるでしょうか…
何
言ってんの？
!!
あたしを
追い越すつもりで
頑張りなっ


ぐしっ
はいっ
あの日から
あたしにとって
川島さんは
憧れの人であり
ライバルに
なりました


この3年間
休日はほぼ
デザインの勉強に
費やしてきたんです
精神的にも
強くなれるよう
努力しました
すべては
この企画のために
本社に戻ってからは
ほとんど交流が
なかったから
気づかなかった
そう
だったんだ…


川島さんも
同じ気持ちでいて
くれてるものだと
思い込んでいたので
今の
覇気のなさは
正直がっかりです



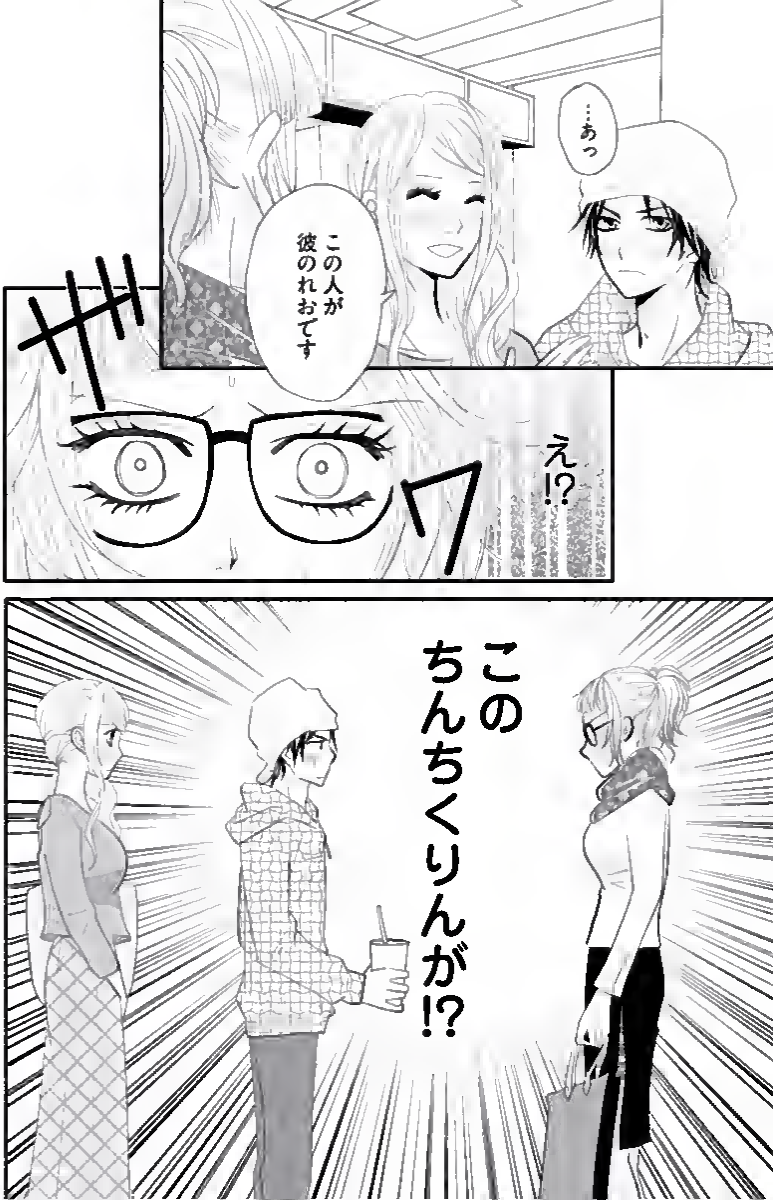
若林さんの
言うとおり
今のあたしが
あの頃とは違って
しまったのは
事実だ
たしかに
昔は自分に
自信があったし
上を目指すことに
無我夢中
だったんだよね

もちろん
恋愛との両立なんて
無理だと思ってた
けどそうやって
決めつけて
一人でいるうちに
女としての自信は
どんどん失くなって
いったの…
そんななか
会社で上に立ったら
立ったで色々
うまくいかないことも
多くなってきてね
いつのまにか
仕事さえも
自信失くし
始めてた…
そんな時
「彼」があたしを
救ってくれたの

こんな
めんどくさい女を
理解してくれて
いつだって
本気で
ぶつかって
きてくれるの
若林さん
からしたら
ふぬけのように
見えたかも
しれないけど
彼のおかげで
少し成長
できたんだ
やっと
自信を
取り戻せたの
…そうですか
わかりました
まぁ お相手が
中里MGだったら
確かに心強いですよね
でも 仕事は
しっかりと
こなして
くださいよ
…はい

——って
なんで中里さんの名前が出てくるの!?
中里MGとおつき合いしてるんですよね?
違います!!
そうなんですか 昨日他店のスタッフからお二人の噂を耳にしたので
リサーチした人。
そんな噂回ってるの…?
う——知らなかった
ほんとに違うんだ
でもあの人よりできた人間となると相当な男なんだろうな
そんな男を見つけるなんてやっぱこの人すごいかも…
駅

川島さん
地下鉄ですか
あ…
あたし今日は
あっ
おつかれー
……
なんでここに
いるの!?
マッ○で待ってて
って言ったのに
だってあそこ
22時閉店
だったんだもん
弟さん…？
似てないけど


…あっ
この人が彼のれおです
え!?
このちんちくりんが!?